

1 9 9 7

授業概要

【シラバス】

心理学科

白梅学園短期大学

SHIRAZUME GAKUEN

目次(心理学科)

教養教育科目(1年)

文学・フィクションと人間	3
王朝文学の世界	4
話し言葉の文芸	5
西洋文学	6
近代日本の歴史	7
西洋史概説	8
東洋美術	9
演劇論	11
現代社会論	12
現代家族論	13
日本国憲法	14
市民生活と法	15
政治学入門	16
生活の経済学	17
マスコミュニケーション概論	18
現代社会と女性	19
自然科学史	20
生命の科学	21
生物と環境	22
生活の科学	23
健康の生理学	24
宇宙と地球	25
総合科目人間	26
総合英語 I	27
選択語学 I (英語)	31
選択語学 I (独語)	38
選択語学 I (仏語)	40
選択語学 I 海外語学研修	41
スポーツA(バドミントン・卓球)	42
スポーツA(テニス)	43
スポーツA(バレーボール)	44
スポーツA(エアロビクス)	45
スポーツB(スキー)	46
健康科学	47
スポーツ科学	48

専門教育科目(1年)

発達心理学 I	51
発達心理学 II	52
知覚心理学	53
学習心理学 I	54
学習心理学 II	55
臨床心理学	56
生理心理学	57
基礎技法演習	58
心理学演習 I	59
心理学演習 II	60
心理学総合演習	61

心理統計Ⅰ	-----	65
心理統計Ⅱ	-----	66
情報処理Ⅰ	-----	68
情報処理Ⅱ	-----	70

司書科目(1年)

生涯学習概論	-----	73
図書館概論	-----	74
図書館経営論	-----	75
情報検索演習	-----	76
図書館資料論	-----	77
資料組織概説	-----	78
資料組織演習	-----	79
児童サービス論	-----	80
図書及び図書館史	-----	81
情報機器論	-----	82

教養教育科目(2年)

総合科目人間	-----	85
総合英語Ⅱ	-----	86
選択語学Ⅱ英語	-----	90
選択語学Ⅱ独語	-----	93
選択語学Ⅱ仏語	-----	94

専門教育科目(2年)

感覚と知覚	-----	97
記憶と思考	-----	98
動機づけと感情	-----	99
英書講読	-----	100
情報処理Ⅱ	-----	101
心理学研究演習・卒業研究	-----	103
心理学研究法A	-----	110
心理学研究法B	-----	114
精神生理学	-----	119
心理検査法	-----	120
カウンセリング	-----	121
行動療法	-----	122
臨床心理学	-----	123
健康心理学	-----	124
障害児心理学	-----	125
交流分析	-----	126
児童相談	-----	127
心理学特講Ⅰ	-----	128
心理学特講Ⅱ	-----	129
心身医学	-----	130
精神保健	-----	131
精神医学	-----	132

教養教育科目（1年）

【授業科目名】 文学・フィクションと人間	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】 文学作品に描かれた「世界」とは何なのか。それは先ず（少なくとも）、我々が生きているこの「現実」とは別の、「もう一つの世界」だろう。本講の目標は、この「もう一つの世界」としての「文学」（一般的には「芸術」）の構造を探りつつ、同時に、それとの関係の中で見えてくる「現実世界」の意味をも考えることにある。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>教科書は用いない。講義の中で指定する若干の小説を読むことが課題になる。</p>	
授 業 計 画	
<p>○ 例えば「小説」に描かれたことは、要するにすべて「作り事」、つまり「フィクション・虚構・ウソッパチ」だ。しかし我々は、なぜワザワザこんな「作り事」を生み出し、求めて来たのか。なぜ、そんなウソッパチに感動したり、「生き方が変わってしまった」などという驚くべきことがおこるのか、という事を考えたい。</p> <p>これを考えることは、「文学」のみならず、「芸術」一般を考える出発点にもなるし、ひるがえって、（我々が生きている）この「現実」なるものの意味を考えることでもあろう（「現実」はなぜ「フィクションではない」などと言えるのか）。</p> <p>○ 講義は概ね、以下の三点をめぐって順次展開するはずである。</p> <p>① [フィクション論] ……「フィクション」とは何か、それと「現実」は、いかなる関係にあるか、という問題を軸に考える。</p> <p>② [文学作品における「方法」について] ……小説を中心に、「もう一つの世界」がどのような構造を持っているかを考える。</p> <p>③ [日常性と非日常性] ……ひるがえって、我々が「生きている」（と思っている）この「世界」のリアリティー（あるいは限界）について考える。</p> <p>○ 若干の課題作品（講義の中で指示する）を読むのは当然ながら、そのほかにも、講義でふれる作品を意欲的に読んで行くこと。</p> <p>「芸術と現実」に関する自分なりの問題意識を、可能な限り鋭く研ぎ澄ますこと。この二つの前提があれば、講義は決して「難解」ではない。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験（自筆ノート参照可）。講義に基づいて自ら考察しつつ論じる形式。講義をよく聞いて、しっかりノートを取っておくこと。課題作品に関する小テスト（1～2回）も加味する。「出席」のこと等は、最初の講義の時に述べる。</p>	

【授業科目名】 王朝文学の世界

【担当者】 久保木寿子

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 “受験文法”のために日本の古典作品の多くが、横にちぎれられたままで終わってしまう。が、優れた古典は、作品としての主張をもっており、解説をこそ待っている。おもしろさに気づくことが第一の目標である。次いで、作品の主張の意味を時代に即して理解することを目指す。

【テキスト・参考書】 岩波文庫『竹取物語』・配布プリント
参考書は最初の授業で紹介する。

授 業 計 画

平安時代初中期にかけて、口伝によるカタリが物語として生成し、主題性を明確にしていく。竹取物語と源氏物語に焦点を合わせ、生成初期から成熟への過程を追う。

- 1、さまざまな竹取の物語
- 2、カタリの話型_{カタリ}と、話型_{カタリ}による物語
- 3、かぐや姫はなぜ天界に帰るのか
- 4、物語の中の異界(1)——『古事記』の場合
- 5、物語の中の異界(2)——『源氏物語』明石へ
- 6、紫上の命日
- 7、「形代_{かたしろ}の物語」対「“おこ”の物語」
- 8、地上をさまよう「浮舟」
- 9、王朝物語の主題_{テーマ}
- 10、なぜこのような主題_{テーマ}が取り上げられるのか

おおよそ以上のような計画を進めたい。

【評価方法】 定期試験時レポート、及び授業時の「マトノメモ」による。

【授業科目名】 話し言葉の文芸

【担当者】 東喜望

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

将来に資するために、口承文芸を取りあげます。
初めに、口承文芸（昔話・伝説・神話など）を概観し、日本の代表的な話を
とりあげながら、その話の淵源をたずねていきます。
大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考究していく予定です。

【テキスト・参考書】

1. 講義資料を配布する。
2. 参考書. 岩波文庫『日本の昔ばなし』I・II・III（『おひり爺』
他・『桃太郎』他・『一寸法師』他）（関敬吾編）

授 業 計 画

講義はおよそ以下の項目によって行う。

1. 自然と文化
2. ことばと文化
3. 文芸の起源
4. 口承文芸
5. 昔話の形態
6. 昔話のルーツ（浦島・桃太郎・竹取翁など）

【評価方法】 定期試験時に実施する筆記試験。

【授業科目名】 西洋文学

【担当者】 衣川清子

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

女性作家によって書かれた19世紀および20世紀の西洋文学の小説（児童文学を含む）のいくつかに触れることによって、知識、視野、教養の幅を広げることを目標とします。

【テキスト・参考書】

テキストは特になし。参考書や資料は必要に応じて紹介します。

授 業 計 画

この授業では19世紀および20世紀の西洋文学の小説（児童文学を含む）のうちから、女性作家によって書かれたいくつかの作品を選び、作品の内容と特徴、作品の舞台と背景、作品の受容、作者の横顔などを紹介し、一種の文学案内にしたいと思っています。

毎回の授業で原則として一つの作品を扱う予定です。取り上げる予定の小説は、ジェイン・オースティン『いつか晴れた日に』、シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』、エミリー・ブロンテ『嵐が丘』、ルーシー・モード・モンゴメリー『赤毛のアン』、フィリップ・ピアス『トムは真夜中の庭で』、マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』、アリス・ウォーカー『カラー・パープル』、イサベル・アジェンデ『精霊たちの家』、エイミ・タン『ジョイ・ラック・クラブ』などです（変更する場合があります）。また、サラ・バレッキーとパトリシア・コーンウェルという二人のミステリー作家も取り上げます。音声や映像の資料がある場合はそれらも活用したいと思います。この機会にいろいろな小説を読みたいと思っている学生の聴講を期待します。

授業の進め方やスケジュールなど、詳しくは初回の授業で説明します。

【評価方法】

平常点とレポートの総合評価とします。授業の中で取り上げた作品またはその他の指定する作品について、「書評」（「感想文」ではなく）の形で期末レポートを書いていただきます。書き方については授業の中で説明します。

【授業科目名】 近代日本の歴史

【担当者】 平賀明彦

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

歴史的なものの見方、考え方を身につけてもらうために、日本の近代史を題材にしながら、時間の流れの中で移り変わり、変化をとげていく社会を構造的にとらえていく手法について話しをしたい。どのような視点から歴史を見つめるかといったことからまず検討し、それを実践したとき何が見えてくるかを明らかにしてみる。

【テキスト・参考書】

テキスト：特になし

参考文献：多数あるので、講義中に逐次紹介する

授 業 計 画

これまでの歴史の学習の中ではあまり体験したことのない、ローアングルからの歴史認識ということについてまず説明してみたい。歴史を支え、突き動かしている民衆に視座を据えたこのアプローチからは、近年、多くの研究成果が生み出されているが、実は、明治の初期に、すでにこのような視角から当時の民衆生活を克明に描き、そういった人々をとりまく社会の構造について分析したルポや研究の書があった。まず、これらを導きの糸にして、なぜそのような視角が成立し、そのような作品があらわれることになったのかを、当時の時代状況を検討することで明らかにしようと思う。歴史的な事件や人物などの細かい知識は不要。ダイナミックに近代の全体像をつかみ、その中でいろいろな形で歴史との関わりをもった人々に細心の注意を払い、その生き様をみつめる目を養うことが重要。以下、次のようなテーマを設定して講義を進めたい（但し、順不同）

- ・歴史を学ぶことについて—まずは固定イメージの転換から
- ・ローアングルからの歴史とは
- ・日本近代の見取り図—近代史像のダイナミズム
- ・明治という時代—人々を取り巻く国家の枠組みは
- ・底辺民衆を見つめる目—潜入ルポルタージュの先駆、松原岩五郎
- ・『日本之下層社会』が問い掛けたもの—近代化の実相
- ・成金時代に書かれた『貧乏物語』—足腰の弱い経済発展
- ・恐慌と戦争の1930年代—民衆が求めたものは

【評価方法】

最後にレポートを課す

講義中に小レポートの提出を求めることがある

【授業科目名】 西洋史概説

【担当者】 川鍋光弘

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

- わたくしたちにとって「西洋」とは何であるのか
- 「西洋」をつくったものは何であるのか
- 「西洋」はどこへ行くのか

【テキスト・参考書】

特になし。その都度 資料配布の予定

授 業 計 画

「西洋」近代の生み出した工業化社会・産業社会は、人口に豊かな生活をもたらした反面、世界の多くの地域に大きな被害をあたえ、21世紀を迎える今日に於ても、世界はその苦しみから抜け出しきれない。その上今や「西洋」内部においても格差の問題が激化してきている。ここでは、「西洋」近現代の歴史を他の地域との関連のなかで学んでいきたい。

- ① わたくしたちは「西洋」をどうみているか
- ② 日本人の「西洋」観
- ③ 西ヨーロッパと東ヨーロッパの成立と発展
- ④ 西ヨーロッパの世界進出と絶対王政
- ⑤ 市民革命・産業革命のもたらしたもの
- ⑥ 近代社会とナショナリズム
- ⑦ 帝国主義と社会主義
- ⑧ フシズムと人民戦線
- ⑨ 東西冷戦とヨーロッパ統合

VTRや資料を使い、学生自身が歴史的事実をどう考えるかを重視したい。尚、時々の関係で全てのテーマを扱えるとはかぎらない。

【評価方法】

平常点・適宜課する感想文・小レポート等の提出状況・出席状況

【授業科目名】 東洋美術	【担当者】 神道明子
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>中国美術への理解を深めることにより、東洋の中の中国美術、ひいては東洋の中の日本美術という視点を持つことに努める。また美術作品を通して、背景となる歴史・政治・文化の流れを考える力を養うことを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト : 授業時に資料を配布する。</p> <p>参考書 : 『中国美術史』 マイケル・サリバン著 新潮社 『中国美術史』 小杉一雄著 南雲堂 他</p>	
授 業 計 画	
<p>古代中国の美術は日本の美術に大きな影響を与えた。特に我が国の仏教美術は、中国・朝鮮の美術を理解することなしには語るができない。しかしその中国の仏教美術もまたインドからの外来文化である。これらのことを念頭におき、前半は中国の何千年という歴史を支えた仏教以前の美術、主として都市や墳墓などの考古学的発掘の成果にみる美術を中心に話を進める。</p> <p>後半はインドから西域、或いは南方のルートを通して中国に伝わった仏教美術が、どのように展開してゆくのかを現在中国各地に残る石窟寺院の仏教彫刻を中心に、図やスライドを使って講義を進めていくことにする。博物館、美術館などの見学もできるだけ行いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 彩陶・黒陶から近世の陶磁器まで (2) 殷・周・春秋戦国時代の美術—青銅器文化 (3) 秦始皇帝と兵馬俑坑 (4) 漢の明器と画像石—墳墓の美術 (5) インドの仏教美術 (6) 中国への仏教伝来と初期の仏像 (7) 石窟寺院の仏教美術—敦煌・雲崗・竜門などの石窟美術 (8) 中国美術が我が国に与えた影響 	
<p>【評価方法】 平常点、レポート 他</p>	

【授業科目名】 東洋美術

【担当者】 山田磯夫

【開講期】 1年 前期

【授業目標】

東洋といっても範囲が広く、各地域では相異なる文化圏に属し、異なった美術様式をもっているため、これらを一元的に講義することは困難である。そこでこの講座では、アジアの諸地域にわたって強く影響を与えた仏教に焦点をあて、極東の国・日本で生み出された仏教美術、特に仏教彫刻について概観する。

【テキスト・参考書】

参考書 : 辻惟雄監修『カラー版 日本美術史』美術出版社
久野 健 『仏像の歴史』 山川出版社

授 業 計 画

日本の仏教美術は近世以前の日本美術の形成・発展において常にその母胎となってきた。この講座では、まず仏教美術理解の基本である仏像の見方について学び、古代から中世に至る仏像彫刻を取り上げ、彫刻様式の流れの理解につとめる。スライド使用。

以下のテーマに沿って進める。

- ①はじめに—東洋の文化圏とシルクロード
- ②仏教美術について—仏像の見方(1)
- ③仏教美術について—仏像の見方(2)
- ④飛鳥時代の彫刻Ⅰ—仏教伝来と最初の仏像
- ⑤飛鳥時代の彫刻Ⅱ—法隆寺の仏像と止利仏師
- ⑥白鳳時代の彫刻—旧山田寺の仏頭
- ⑦天平時代の彫刻Ⅰ—薬師寺の仏像
- ⑧天平時代の彫刻Ⅱ—東大寺の仏像
- ⑨平安時代の彫刻Ⅰ—木彫の誕生と一木造
- ⑩平安時代の彫刻Ⅱ—寄木造と仏師定朝
- ⑪鎌倉時代の彫刻—南都復興と慶派仏師
- ⑫講義のまとめ

【評価方法】

筆記試験

【授業科目名】 演劇論

【担当者】 高橋秀雄

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 “人生は劇場なり”という言葉があり、また、演劇は宗教儀礼から発しているという説があるように、演劇は古くから生活の中の文化として成立し、多様な展開をみせてきた。この演劇の展開の歴史を辿り、演劇について考察を試み、とくに西洋と東洋、さらには日本との比較の中で演劇の特質を探究する。

【テキスト・参考書】

テキスト：使用しない

参考書：各種演劇関係書（その都度指示する）

授 業 計 画

洋の東西における演劇の特色を明らかにするとともに、演劇の構成要素である演出・演技・舞台美術・照明・音響・衣裳などの演劇の基礎的表現を分析し、さらには、西欧の諸演劇と日本の演劇を比較することによって、その多様性と特徴を理解する。各テーマについては、1回または数回の講義となる。

1. 宗教儀礼と演劇
2. 悲劇と喜劇
3. 能と「花伝書」
4. リアリズム演劇とスタニスラフスキー・システム
5. 歌舞伎と「虚実皮膜論」
6. 歌舞伎と新劇
7. オペラとミュージカル
8. 比較演劇論
9. 現代と演劇

【評価方法】

1. 期末のレポート
2. 授業時の小レポート
3. 授業時の平常点

左記3項による総合評価

【授業科目名】 現代社会論	【担当者】 民秋 言
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代日本社会は複雑な仕組みをもって高度に発達している。この社会を考えると、いろいろなアプローチがあるが、本講では社会学的な把握を試みる。人間の社会学理解からはじめる本講は、いずれ毎日、新聞やテレビに現れるテーマをとりあげ、それらがもつ課題を「人間らしく生きる」という観点からも整理する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>講義中に適宜指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 「人間が生きる」ということ — 社会的存在としての人間を追求する。生物体のヒトから生活体の人間への変換点は何か。「人間らしく」生きる意味を考える。</p> <p>2. 人間の行動・行為 — 人間の生活＝生きるということは、行動（行為）の連続であり、したがって行動（行為）について説明する。</p> <p>3. 「人間らしく」生きることと欲求 — われわれ人間にとって行動は欲求充足のためにとられる。しかし、欲求にはいろいろな次元からとらえられるべきであり、現代社会におけるわれわれの生き方と欲求のあり方について考える。</p> <p>4. 人間を特徴づけるパーソナリティ — 人間の行動を特徴づけるものとしてパーソナリティを位置づける。現代に生きるわれわれが、どのようにパーソナリティを形成していくか考える。</p> <p>5. 行動様式としての文化 — とくに社会規範に注目する。複雑な社会に生きるわれわれにとって文化がもつ意味を考える。</p> <p>6. 集団生活のあり様 — 人間はふつう重層的にいくつかの集団に属しているものであり、その一員としての生活を送る。集団がどのように個人の生き方を規制するか、一方で個人がどのように集団をつくっていくか考える。</p> <p>7. 現代日本社会の諸相 — 現代日本を特徴づける社会変動について説明する。とりわけ都市化について述べる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテスト</p>	

【授業科目名】 現代家族論	【担当者】 民秋 言
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>人類の歴史と共に古い、といわれる家族。この家族は今日の社会において私達の生活とどうつながりをもっているか。今日、いろいろな角度から家族がテーマとされるが、本講では「福祉」の視点から考えてみる。福祉すなわち「人間としての幸せ」は家族とどうかかわっているか、が主たるテーマとなる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>望月 嵩、木村 汎共編 『現代家族の福祉－家族問題への対応』 培風館</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 人間にとって家族とは何か</p> <p>2. 家族のはたらき</p> <p>3. 家族のタイプ</p> <p>4. 家族のしくみ</p> <p>5. 家族と福祉</p> <p>6. まとめ</p>	<p>－ 家族は人類の歴史と共に古い集団といわれる。つまりわれわれ人間にとって家族は必須のものであったし、今後もそうであろう。人間が生きることとの関わりで「家族」の定義をする。本講では家族を「福祉追求の集団」とする。</p> <p>－ 家族は基礎的集団といわれ、いろいろなはたらき（機能）を同時併行的にもつ。しかし今日の社会では、すべての機能が一樣に求められているとは限らない。家族がもつどのような機能に注目すればよいか考える。</p> <p>－ 家族という集団を形成し、それを拠点として生活するとき、そこにはさまざまな家族のタイプが生ずる。また社会全体がもつきまりやルール（規範）によって家族のあり方も規制される。どのような家蔵のタイプが望ましいか、考える。</p> <p>－ 家族がもつ目標を達成するためにはそのしくみ（構造）が問題となる。役割構造と権威構造との2面から検討する。</p> <p>－ 家族は福祉追求の集団であるとするとき、そこにはいくつかの課題が生ずる。</p> <p>(1) 子どもの養育と家族福祉 (2) 母子家庭、父子家庭と家族福祉 (3) 高齢化社会における家族福祉</p> <p>－ 今後、家族を形成するものとして、望ましい家族福祉の姿を考えてみる。</p>
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテストを期末に実施</p>	

【授業科目名】 日本国憲法

【担当者】 園田康博

【開講期】 Ⅰ 年 後期

【授業目標】

憲法は国家統治の組織・作用の基本法であり、国家並びに国民が準拠すべき最も重要な法である。本講では、その憲法を網羅的かつ体系的に解説し、憲法知識に加えて、憲法感覚の伝達を目指す。憲法を通じて法的なものの考え方を体得できるように期待したい。

【テキスト・参考書】

テキスト、参考書ともに開講時に指示する。

授 業 計 画

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. 講義のガイダンス | 講義の内容および履修上の注意 |
| 2. 憲法学の基本的な概念Ⅰ | 憲法の意味、国家の定義と憲法 |
| 3. 憲法学の基本的な概念Ⅱ | 形式と性質、憲法規範の特質 |
| 4. 日本国憲法の基本原則Ⅰ | 三大原理、権力分立 |
| 5. 日本国憲法の基本原則Ⅱ | 法治主義、法の支配、公共の福祉、権利濫用の禁止 |
| 6. 憲法保障 | 組織的保障と未組織的保障 |
| 7. 憲法と国際法 | 憲法と国際法の優劣、二元論と一元論 |
| 8. 人権享受の主体適格性 | 天皇・皇族、外国人 |
| 9. 人権享受の主体適格性 | 法人、公務員、在監者、故人 |
| 10. 憲法の第三者効力 | 私人間における人権の適用可能性 |
| 11. 部分社会論 | 部分社会論の意味、根拠、効果、問題点 |
| 12. 人権の国際的保障 | 背景、本質、現実、制度の現状 |
| 13. 消極的権利Ⅰ | 精神的自由権の一般的特質、思想・良心の自由 |
| 14. 消極的権利Ⅱ | 信教の自由、集会・結社の自由 |
| 15. 消極的権利Ⅲ | 表現の自由、学問の自由 |
| 16. 消極的権利Ⅳ | 人身的自由 |
| 17. 消極的権利Ⅴ | 経済的自由（財産権、職業選択の自由） |
| 18. 積極的権利Ⅰ | 受益権（請願権、国家賠償請求権、刑事補償請求権） |
| 19. 積極的権利Ⅱ | 社会権（生存権、労働基本権、教育を受ける権利） |
| 20. 複合的権利Ⅰ | 幸福追求権、平等権 |
| 21. 複合的権利Ⅱ | 新しい人権（環境権、知る権利、プライバシー） |
| 22. 能動的権利 | 参政権の内容、本質、公務就任権 |
| 23. 三種の違憲審査基準 | 厳格審査、厳格な合理性の審査、緩やかな審査 |
| 24. 天皇 | 本質、権限、象徴天皇制について |
| 25. 国防 | 9条の基本構造と解釈 |
| 26. 国会の地位と構造 | 国権の最高機関、唯一の立法機関 |
| 27. 内閣と行政権 | 議院内閣制と首長制、内閣の組織・権能・責任 |
| 28. 裁判所と司法権 | 司法権の概念、独立 |
| 29. 財政、地方自治 | 財政民主主義、租税法律主義、地方自治の本旨 |
| 30. 総括 | まとめ |

【評価方法】

筆記試験・出席率の総合評価

【授業科目名】 市民生活と法

【担当者】 武藤健一

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 法という視点から、社会として家庭において女性がどのように位置づけられているのかを理解すること。

【テキスト・参考書】 概ですが、金城清子著「法女性学」(1991年 日本評論社)、角田由紀子著「女性の法律学」(1991年 有斐閣)をあげておきます。

授 業 計 画

日本の現行法制上、どのように女性が位置づけられているかを、1°人権(憲法)、2°家族法(戸籍)、3°雇用(労働法)、4°セクシュアリティ(性)という柱をたて、検討する予定です。

【評価方法】 学年末試験に、出席を加味して行いたいと考えています。

【授業科目名】 政治学入門

【担当者】 加地直紀

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

政治とは、つまるところ権力闘争であることを、国内外の事例をとおして理解する。

【テキスト・参考書】

中村勝範『正論自由 第2巻』(慶應義塾大学出版会、1996年)

授 業 計 画

- I. 多面的なものの見方について
核兵器、戦争、汚職、不倫 = 悪なのか
- II. 巧利主義について
善悪ではなく、損得という尺度
- III. 政治の定義
政治：欲望の調整 → 権力闘争
- IV. 日本政治における権力闘争
- V. 国際政治における権力闘争

※ 受講中の私語・飲食は厳禁 (違反者は退室のこと)

【評価方法】 ① 平常点 (ただし出席はしません)

② レポート

【授業科目名】 生活の経済学	【担当者】 内山哲朗
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代日本経済を「生活の豊かさ」の視点より取り上げ、「経済の豊かさ」と「生活の豊かさ」の関連構造を検証しながら、「経済と生活」をつなぐ基本的論理について講義を進めていく。戦後日本経済の歩みとその問題点に目を配る中から、21世紀に向かう「日本の生活像」に関する基礎知識の修得をめざす。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>特に指定しない。講義の中で適宜参考文献を紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>講義で取り上げるテーマは、以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活把握の基本視点——労働・家族・地域—— 2 戦後日本経済の展開過程——時期区分—— 3 戦後日本の生活の変容 4 「豊かさ」とは何か——生活経済学の論理—— 5 「生活の豊かさ」と高齢社会 6 「生活の豊かさ」と環境問題 7 生活福祉の社会経済学——非営利・協同の経済セクター—— 8 生活福祉と社会政策 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業への出席と定期試験を総合的に勘案して評価する。</p>	

【授業科目名】 マスコミュニケーション概論

【担当者】 瀬木博道

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 現代はマスコミ支配の時代である。この社会で大量の情報をマスコミから受けて生活している。この状況を踏まえて、マスコミ、ジャーナリズムの本質を考え、新聞だけでなくマスコミ全般の問題に踏み込んでみたい。「知る権利」の問題に重点を置く。

【テキスト・参考書】

テキスト： 瀬木博道ほか著「コミュニケーションするPR」電通

参考書： 同上 「広報の基礎Ⅰ」日経広告研究所

授 業 計 画

- マスコミとは何か 現状 (上)
- 同 上 (下)
- ジャーナリズムとは
- 言論の自由と知る権利 (上)
- 同 上 (下)
- 図書館の自由と知る権利
- 広告概論 (上)
- 同 上 (下)
- 広報概論 (上)
- 同 上 (下)
- マスコミのよす —— 新聞を中心に

【評価方法】

受講態度 } ならびに 筆記試験による評価
進捗状況 }

【授業科目名】 現代社会と女性	【担当者】 富永静枝
【開講期】 1 年 前期	
【授業目標】 男女共生社会に向けて、伝統的な性別役割分業を見直し、21世紀に生きる男女の望ましいあり方や生き方を探る。	
【テキスト・参考書】 参考書:適宜授業中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業が見直され、働く女性が増大してる中で、女性をめぐる社会的状況は大きく変化しています。しかし一方では、不況下における女子学生の厳しい就職差別などに見られるように、女性が社会に出てから一人の人間として、自立して主体的に生きることは相変わらず困難な状況にあります。そこで変動する現代社会の諸問題、とりわけ家族、労働、教育、福祉の諸問題をジェンダーの視点から考えてみることによって、その問題状況を浮かび上がらせ、これからの望ましい男女のあり方や生き方を考えてみたい。</p> <p>内容は</p> <p>(1)女性のライフサイクルの変化と性別役割分業、</p> <p>(2)現代社会と女性労働</p> <p>(3)高齢(化)社会と女性・家族・家庭</p> <p>(4)男女共生社会に向けての世界の動き・日本の動き</p> <p>を柱とし、それぞれ2~3回講義する予定であるが、学生の問題関心の寄せ方によって、変更することもある。</p> <p>授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加えて行います。また身近な問題なども取り上げることによって、それらの諸問題が学生自身の現在と将来における自分自身の問題でもあることを認識できるようにし、問題解決への意欲を持てるようにしたいと考えています。(なおこの科目は保育科と心理学科の学生を対象とした科目です。教養科の学生は専門科目の現代女性論でさらに詳しく論ずる予定であるので教養科の学生はそちらを選択してください。)</p>	
【評価方法】 レポートその他。	

【授業科目】 自然科学史

【担当者】 柳下登

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 自然科学を学ぶことは、色々な公式、記号、概念等を覚えることだと思い、それが理科嫌いの原因になっている。科学は暗記のためのものではない。人間は自然を理解する（科学する）ことで自己を変革し、より人間らしくなった。科学することは真善美を追求する文化系の諸活動と同根である。科学の歴史は人間の歴史である。ここでは科学を語るためではなく、発想を逆転し、人間を語るために科学の足跡を追うことにした。

【テキスト・参考書】

テキスト：自然科学入門（甲斐義幸、三宮勘輔） 参考書：科学思想のあゆみ（Ch. サンガー）岩波書店、物理学とは何だろうか（朝永振一郎）岩波新書、科学の考え方・学び方（池内 了）岩波ジュニア新書 他

授 業 計 画

この講義では講義目標に合わせて、「サルから人間への道で得たこと」「物質」「宇宙」「生命」の主要テーマの解明の過程をを考察する。細目は講義の全体増を理解するためのキーワードである。

1) 科学を成立させた人間の条件

- a. 森の生活者サル類がヒトをつくる
- b. 「木から落ちたサル」のサルばなれへの道
- c. 四本足から二本足へ
- d. 道具が人間をつくる
- e. 脳とその入れ物（頭）の変化
- f. 生きること（生活）が自然についての理解を深める
- g. 道具で道具をつくる
- h. えものの採集から狩人へ
- i. 定住と栽培、牧畜の誕生
- j. 技術が先か科学が先か

2) 科学の芽生え

- a. ナイル川のもたらしたもの：暦、幾何学
- b. ピラミッドのもたらしたもの：数学
- c. ギリシアの自然学の確立
- d. ローマ、アラビア、中世の科学の特徴

3) 物質の根源を求めて

- a. タレスの「アルケー」
- b. デモクリトスの「アトム」
- c. アリストテレスの「四元素説」
- d. デカルトの「粒子説」
- e. ドルトンの原子論
- f. メンデレーフの原子概念の深化
- g. 原子構造と原子核の世界

4) 宇宙の動きと姿を求めて

- a. 古代の宇宙観
- b. コペルニクスの地動説
- c. ガリレイの「天文学対話」と「新科学対話」
- d. ニュートンは地上の法則を天界へ導入した
- e. 太陽系の起源に関するカント、ラプラスの星雲説
- f. 星の一生と原子核反応宇宙は膨張する

5) 生命の源と進化

- a. 古代における生命の「母なる大地」の考え
- b. アリストテレス生命の完成への目的
- c. ヘルモントの自然発生説 v s パスツールの実験
- d. 細胞（生命）あるものから細胞（生命）へ
- e. ラマルクの進化論：生物は段々と複雑になった
- f. ダーウインの進化論：生物は共通の祖先から
- g. オパーリンの「自然発生説」の復活
- h. メンデルの遺伝の因子説
- i. ワトソン・クリックのDNAの2重らせん構造の発見
- j. バイオテクノロジー

6) まとめ：a. 今日の自然像 b. わたしの研究史：ピートン物語

実 験：火をおこしてみよう。かまぼこの板と アジサイの枝（2×20cm）乾かしておく。

【評価方法】 定期試験にかわる課題レポート。その他、自発的なテーマ設定の提出物にも評価に加える。

【授業科目名】 生命の科学

【担当者】 吉川研二

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 地球上には莫大な数の生物たちが生活している。この生物たちの命を育むのは長い進化の結果作られた地球の大気、水、土壌環境であり、また、その環境は生物自身によって維持されている。私たちヒトも生物との共生によって生きていけるのであって、地球上の多様な生物一つ一つの命はかけがえのないものである。この生物の生命とは何か？一般に難しいといわれる生命科学だが、人間が生きていく上で必修の基礎教養として関心を持ってほしい。

【テキスト・参考書】

プリント－複数の文献・ビデオなどを資料とする。

授 業 計 画

地球上に生命が誕生してから35億年、多種多様な生物が登場し、繁栄し、消滅してきました。しかしながら、生命の設計図である遺伝子、すなわちDNAは生命の誕生から現在まで脈々と伝えられてきました。顕微鏡でしか見ることのできない微生物から巨大な生物であるシロナガスクジラやセコイアまで、その基本は同じです。基本は同じでも、生物を比べて見るとその形、生態、行動など一つとして同じものはありません。私たちが今見ている生物はそれぞれが進化し、生きてきた姿なのです。何故こんなにも多様な生物が存在するのでしょうか。

エイズ、アレルギー、遺伝病、人口や資源、環境など生物学に関わる問題は山積みしています。生物学はまた日進月歩の学問です。農学、医学、薬学、栄養学、遺伝子工学、心理学など応用分野も多方面にわたっています。授業ではいくつかの生物学の話題を拾いながら、生命について、生命現象の謎について紹介していきます。

- ・ 生きているということ
- ・ 生命の起源
- ・ DNA
- ・ 種とは何か
- ・ 性の誕生
- ・ 病気と闘う
- ・ 環境問題
- ・ 生命の共生
- ・ 生命倫理・環境倫理

【評価方法】 レポート＋筆記試験

【授業科目名】 生物と環境

【担当者】 小作明則

【開講期】 1年 後期

【授業目標】

『ヒト』を含めた地球型生物とその生息環境である地球との科学的かつ歴史的な総合認識を持つことでこれからの地球環境について個人個人の問題意識を持てるようにする。

【テキスト・参考書】

授 業 計 画

全ての地球上の生物は意識するしないは別として必ず環境という枠の中で生れ、生活し、滅んでいきます。今日、「ヒト」の経済活動のために地球上のあらゆる環境は地球誕生以来50億年の間で最も激しく、そして経験したことのないかたちで激変する時代に直面しています。このような状況の中で「生物と環境」の講義ではまず地球上で生活している生物がその生物を取り巻く環境とどのような関連をもって生活しているかについて概説し、次に生物を取り巻く環境の変化とその生物の対応について具体的かつ生態学的見地からの理解を深めます。そして最終的にヒトという動物の存在が地球環境にどのような歴史的かつ経済的背景をもって影響を及ぼしてきたかについて学んでもらいたいと考えています。以上述べたことは現在大きな問題と成っている種々の「地球環境問題」を理解し、それにたいして我々がどのような問題意識をもち、さらに具体的対応策を個人のレベルで立てていくことができるかを考える際の手引きになるよう構成するつもりです。

講義の中ではできるだけ実物の生き物に接する機会を作り、疑似体験ではない、直接体験の機会を多く持ちたいと思っています。

【評価方法】

筆記試験

【授業科目名】 生活の科学

【担当者】 滝沢靖臣

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

現代における私たちの生活の進展は大きく、衣食住並びに医薬品からコンピュータまで様々な物質に取り囲まれている。これらの物質を構成している分子や原子の世界に目を向けて、それらの特性を学ぶことにより、身近に起こっている科学的な現象を少しでもより正しく理解できるようになることを本講義の主眼としている。

【テキスト・参考書】

授業の中で項目ごとに紹介する。

授 業 計 画

物質の成り立ちを理解してから、それらの物質を通して私たちの身の回りの科学的現象が理解できるようにする。特に基礎知識がなくても理解できるように平易に解説する。

1. 生活の中の物質科学を考えてみよう。
2. 身の回りにある水分子の世界を覗く。
3. 原子と分子と私たちの生活。
4. 原子はどのような構造をもっているのだろうか。
5. 物質をつくっている分子の構造は何によってきまるのだろうか。
6. 物質の状態は何によってきまるのだろうか。
7. 金属と超伝導とはどのような関係にあるのだろうか。
8. 酢は何故酸っぱく感じるのだろうか。
9. アルコールの正体は何であろうか。
10. 日焼けと日焼け止めと光化学反応。
11. 老化は防げるか。活性酸素の科学。
12. 物質科学とエネルギー
13. 物質科学からみた衣類。高分子化学の世界をみる。
14. 石油資源と石油化学を考える。
15. 科学は地球を救えるか。

【評価方法】

試験、レポート、出欠により評価する。

【授業科目名】 健康の生理学

【担当者】 駒林隆夫

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

健康には運動、休養および栄養の三大要因が関係する。三大要因を考える際、我々の生体の仕組みを理解することは大変重要なことである。本授業では一部基本的な解剖を加えながら、生体の機能について講義を進める。この中で、生理学の知識を深め、健康に関して積極的に考える姿勢を養いたい。

【テキスト・参考書】

カラースケッチ生理学（永田 豊，坪井 實 監訳，廣川書店）

授 業 計 画

1. 細胞の構造と機能
細胞膜の構造，膜輸送，エネルギーの産生.
2. 神経と筋肉
神経インパルスの発生と伝導，骨格筋の構造，クロスブリッジと滑走フィラメント，筋の興奮-収縮連関，筋の張力発生.
3. 心臓血管系
自律神経系による心臓血管系の調節，心臓の活動電位の発生と心電図，血圧の制御.
4. 呼吸系
ヘモグロビンの機能，酸素と炭酸ガスの運搬，呼吸の神経的・化学的調節.
5. 腎臓機能
尿の生成，酸-塩基平衡の腎性調節，細胞外液量の調節，腎のその他の機能.
6. 消化器系
消化器系の構成と機能，消化活動のホルモン性調節，消化の神経性調節，消化障害と疾患.
7. 神経系
神経系の機能的構成，脳の構造と一般機能，感覚器の構成と機能，痛みの生理学，視床下部の構成と機能.
8. 内分泌系
内分泌系の構成と機能，ホルモン作用の細胞機構，ホルモン調節の機構.
9. 代謝生理
血糖の調節，肥満と生活習慣病，体温の調節.
10. 生殖
生殖器系の構成と機能，胎児の循環，母性の生理特性.

【評価方法】

筆記試験 80%，出席率 20%

【授業科目名】 宇宙と地球

【担当者】 杉村新

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

皆さん知りたがり屋になってください。自然を知るのは、人生の基本です。そして、成るほどなあとと思うようになってください。それは自然を理解していく一步一步なのです。皆さんがそういう一步一步を感じる事ができれば、担当者の幸せであり目標でもあります。

【テキスト・参考書】

テキスト：「新訂地学図解」（第一学習社）

参考書：（指定図書）「図解地学IA」（第一学習社）

授 業 計 画

最初の時間にアンケートをします。そのためにテキストが必要です。このアンケートの結果に基づいて、担当者の側で授業内容を“選択”します。第2回目の時間以後もテキストは必ず持ってくること。

講義中のおしゃべり厳禁。

毎回スライドを映しながら講義します。

授業は必ずしもテキストの順序（下記）通りではありません。順序未定。

テキストの内容：

地球の構造と働き，地震，火成岩と火山，地表の変化，地殻の変動，プレートの運動，古生物，資源・環境，大気の動き，海，太陽系，地球の運動，恒星と銀河。
こんなに沢山はできませんから“選択”するのです。

【評価方法】

持ち込み不可の試験で成績をつけます。自然科学は暗記物ではないから、テキストのまる暗記はダメ。内容の理解の程度を判断して採点します。

【授業科目名】 総合科目 人間	【担当者】 黒田・平賀
【開講期】 1年前期 ・ 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>本科目は副題を「人権と平和」とする。本学は建学以来ヒューマニズムの精神をもってその教育理念としてきた。ヒューマニズムとは何かを問い、人間らしく生きる条件として人権の保障と平和の達成にかかわる諸問題を考えることにする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：特になし 参考文献：多数あるので、講義の中で逐次紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>[前期：担当 黒田]</p> <p>今、なぜヒューマニズムを問うのかを説くなかで、現代社会の特徴と諸問題を明らかにする。人間が人間として生き、人格として育つための条件となるのが、基本的人権の主張とその保障である。人権とは何かを論じ、人権の思想の歴史的発展と現代の状況を考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ヒューマニズムの意義 2、人間を考える 3、人権の承認と保障の歴史 4、人権思想の発展と「現代」の課題 5、教育・福祉とヒューマニズム <p>[後期：担当 平賀]</p> <p>戦時下の人々の戦争体験記録などを題材にしなが、戦争と人間との関わりを考えることで、平和の問題にアプローチしてみたい。そして、戦時・戦後の平和への人々の願いが現行憲法に託されていた経過を明らかにする。さらに、その上で、近年の平和学の研究成果に学びながら、平和の国際的条件、日本の役割、人権・福祉などの問題にも踏み込んで、現代における平和の意味について考えてみたい。大きな枠組みとして以下のようなテーマを設定している。</p> <p>◇戦争と平和ー日本の戦時・戦後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総力戦としての近代の戦争 ・精神生活にまで及ぶ総動員 ・戦争体験が語る心の中の反戦、非戦 <p>◇憲法の平和主義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後改革と平和憲法への道 ・国民の平和意識に支えられた憲法の平和主義 ・憲法9条を世界に広げる運動 <p>◇平和学の到達点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦前、戦後史研究の蓄積と戦争責任論 ・「構造的暴力」の問題ー戦争がなければ平和なのか ・人権、福祉と平和 ・国際平和の思想と運動 	
<p>【評価方法】</p> <p>年2回レポートを課す</p>	

【授業科目名】 総合英語 I - 1、2

【担当者】 森田真澄

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

英語能力(聞く、話す、読む、書く)を、総合的に向上させる。

【テキスト・参考書】

(予定) Asia Now---世界にはばたく日本とアジア---

成美堂 (1,854円)

授 業 計 画

アジア関連のニュースを英語で理解する。方法として、テキストと共にビデオを併用し、視覚から入る情報の助けを得ながら、英語のリスニング能力及び読解力を伸ばす。又、英語での質問に英語で答える事により、話す力を向上させる。更に、習得した表現を使用して英作文も試みる。

毎週1ユニットずつ進む。

原則として、毎週授業中に小テストを行なう。

【評価方法】 毎週行なう小テスト---80%

授業への参加度----20%

以上の2点で評価。

【授業科目名】 総合英語 I - 1, 2

【担当者】 清野茂子

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

13世紀から現代のイギリス社会に突然現れたWilliamが、いろいろな異文化体験をする drama. 彼と共に、現在のイギリスを理解し、楽しみながら spoken English for communication の力を養って欲しいと思う.

【テキスト・参考書】

" Cousin William I "
-- essential spoken English for communication -- Seibido; ¥ 1, 800

授 業 計 画

テキストは、ドラマの部分とコメンタリーの部分に分かれています。
1年間を通して、授業は20の unit からなるドラマを中心に進めます。
コメンタリーに関しては、授業中に行う簡単な質問に回答出来るように、各自、自分で内容を理解して出席すること。

【評価方法】

出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。

【授業科目名】 総合英語 I - 1, 2

【担当者】 藤田久美子

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

ビデオと音声テープを主な教材にして、英語の全体的な運用能力を、楽しく、無理なく向上させることを目標にする。

【テキスト・参考書】

Cousin William - Essential Spoken English
For Communication -
(Hiroto Ohyagi 他編 SEIBIDO)

授 業 計 画

テキストは、13世紀から現代イギリスに突然やって来たWilliamが様々な体験をするというドラマ部分と、イギリス文化を紹介するコメンタリー部分の両方から成り立っている。ドラマは平易な英語なので、すぐに理解できるだろうし、コメンタリー部分も、幾つかの単語や表現をチェックしておけば決して難しくはないと思う。会話とコメンタリーという二つのタイプの英語を勉強できるのが、このテキストの大きな利点だと思うので、この両タイプの英語表現に是非慣れてほしいと思う。

授業では、ビデオを見た後、その内容理解のための質問に答え、また、テープを聞きながらの dictation, summary 制作などのタスクをやっていく。

授業の準備としては、次にやる所の、listening dictation 以外の部分に必ず目を通して来ることが肝要である。特にコメンタリー部分は、必ず内容をしっかりと理解して来ること。さもないと、exercise やこちらの質問に答えられないということになる。

【評価方法】

出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業態度（積極性など）を、だいたい同じ比重で見て評価の基準とする。

【授業科目名】 総合英語 I - 1、2

【担当者】 長尾主税

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

リスニングとリーディングを中心に、基本的な英語運用能力の養成を目標とする。

【テキスト・参考書】

開講時に指示する。

授 業 計 画

日本語の発音とは決定的に異なる英語の基本的な発音、強勢、抑揚についての知識を習得した後、リズムと速度に留意して日常的な会話を聴きとる訓練を行う。また、ビデオを使用して映画のシークエンスにおける会話の成立について学ぶ。いずれの方法においても、徹底した反復が重要視される。よく用いられるフレーズは暗唱することになる。

平易な英文を読み、語彙をふやし、基本的な文法事項を修得することが、英語学習の妨げにならないことは言うまでもない。英語のロジックの展開の仕方を学び、少し努力すれば読める短い文章を利用し、理解できたという達成感を積み重ねてゆく。

【評価方法】

期末に行うテストの結果に、出席等の平常点を加えて評価する。

【授業科目名】 選択語学Ⅰ-1、2 英語（オーラル）【担当者】スワン、W、ロレンス

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

This class will practice oral communication using the foundation of English grammar and vocabulary that the students have studied in previous years of school.

【テキスト・参考書】

There is no textbook.

授 業 計 画

The class will rely mainly on games, skits and group activities for stimulating dialogues and questions/answers among students and for building daily-use vocabulary. Students will be called upon to use English in directing other students in performing activities and creating English sentences and dialogues.

【評価方法】 Grading will be based upon class performance and attendance.

【授業科目名】 選択語学Ⅰ-1、2 英語（オーラル）【担当者】森田真澄

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

英語のリスニング能力及び話す能力を中心に向上させる。

【テキスト・参考書】

(予定) First Time Abroad---初めての海外旅行---

成美堂 (1,800円)

授 業 計 画

テキストと共にビデオを併用し、英語圏への旅行に必要な基本的会話を習得する。

毎週1ユニットずつ進む。

原則として、毎週授業中に小テストを行なう。

【評価方法】 毎週行なう小テスト---80%

授業への参加度----20% 以上の2点で評価。

【授業科目名】選択語学Ⅰ－1、2 英語（オーラル）【担当者】清野茂子

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の中の「聞く」「話す」力を特に中心にして、基本的英語運用能力の養成を目標とします。

【テキスト・参考書】

"Task Listening "

Kinscido; ¥1,854

授 業 計 画

様々な生活状況を想定し、基本的な音声上の聞き分けの練習を含みながら、具体的な日常レベルの会話を題材にした24の項目を、1年間通して学びます。
毎時間の作業を重視しますので、必ず出席すること。

【評価方法】

出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。

【授業科目名】選択語学Ⅰ－Ⅰ、Ⅱ 英語（リーディング）	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1年前期 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>アメリカの短編小説を使って、英文を正確に読む力を身につける。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>未定</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>英語が読めないと思っている人、「読めない」のではなく「読もうとしていないだけ」であることに目覚めよう。文学作品は、古今東西、同じ人間についての有り様を書いているのであるから多少の読む技術を身につけることで、あとは想像力と文脈によりある程度の内容理解は出来るはずである。この精神に立って、アメリカの短編小説を数多く読んで楽しもう。</p> <p>読む技術については、毎時間プリントを配布して、読むために必要な文法事項等は確認していく。あとは、レポーター（一人20行程度ずつ分担）に報告してもらいながら、内容の細かい把握につとめる。</p> <p>どれくらい読めているかは、各自で再度授業部分を読んでもらい、次の時間に、内容を10行程度にまとめてもらう。自分が分かっていない箇所などもこの時書いてもらって良い。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>内容のまとめと前期、後期それぞれ一回のレポート</p>	

【授業科目名】選択語学Ⅰ－1、2 英語（リーディング）

【担当者】磯山滯一

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

比較的平易だが、すぐれた英文の作品を読み、英語の物語や小説を読みとる力をたかめます。また、作品の英文を活用して、身近なことを英語で表現する力をつけます。

【テキスト・参考書】

前期 Sadako and the Thousand Paper Cranes by Eleanor Coerr

山口書店

後期 Mico and the Fifth Treasure by Eleanor Coerr プリント

授 業 計 画

エリーノア・コーアさんは、アメリカの著名な児童文学者です。二つの作品は日本のことをテーマにしていますが、すぐれた英文で書かれています。

前期は、テキストとともに、アメリカで製作された同名のビデオを用います。

後期は、テキストが日本で出版されていないので、プリントを用います。テキストのほかに、アメリカの子どもたちが、原爆の発生地ニューメキシコ州のロス・アラモスに自分たちの手で「原爆の子の像」を建てようという運動をしているので、その様子をビデオ、新聞などで学習します。

【評価方法】

定期テスト、小レポート、出席状況などを総合して評価します。

【授業科目名】 選択語学 I - 1、2 英語(リーディング)

【担当者】 田中安行

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

さまざまな英文に触れて、英文を読む力を伸ばしていく。時事問題や英詩、エッセイなどを読むと同時に、それらの易しい英文の中からより人間らしく深く感じ、考えていくヒントを見つけだしてみたい。現代の世界にある諸問題を英文で触れて、それらをどう考え、自分たちに何ができるか、今後の自分の生き方なども考えるきっかけにしたい。

【テキスト・参考書】

開講時に指示する。

授 業 計 画

1. 平易な童話、漫画、英詩、小説、英字新聞やインターネットからの時事英語などを教材に使う。
2. それぞれのジャンルの英文の読み方の基本を学び、応用していく。
3. さまざまな種類の英文に触れながら、表面的な語句や意味の底に隠された意味を理解する方法を考える。
4. 学年の後半には自分たちでも英文を書いたり、ニュースを作ったりしてみる。

【評価方法】

ふだんの学習状況や発言などの平常点とレポートおよびテストで行う。

【授業科目名】選択語学Ⅰ－Ⅰ、Ⅱ英語（リーディング）【担当者】清野茂子

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

インターネットを活用して、リーディングとライティングの技能を中心にした英語の学習を楽しみます。

【テキスト・参考書】

" English on the Net " Kinscido; ¥ 1, 545

授 業 計 画

インターネットから得られた情報が、16項目入っています。
どの項目を取り扱うかは授業の時に決めますので、各自、必ず教科書を持参で出席のこと。
（他人のものは、あてにしない様に。お互いに迷惑になります）
また、10分間程、ヒアリングの練習も入れる予定。

【評価方法】

出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。

【授業科目名】 選択語学Ⅰ-1、2 独語

【担当者】 田中安行

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

ドイツ語の基礎を学ぶ。毎時間簡単なドイツ語会話を取り入れて、ドイツ語で話し聞くことに慣れていく。同時にドイツ語の文の構造を理解するために最小限必要な文法的ルールを覚えて易しいドイツ語の文が書けるようにする。辞書の使い方も覚えて簡単なドイツ語の文を読めるようにする。

【テキスト・参考書】

田中安行他著「ドイツへ行こう」三修社、1994年
その他は開講時に指示する。

授 業 計 画

1. 毎時間前半は簡単なドイツ語会話や詩や歌を覚えて、後半はそれらを含む文法理解に進んでいく。
2. その時間の目標の文に関しての練習問題を行って、そこから文のルールを発見する学習方法を取り入れる。これによって文法というものを受け身でなく、自分から積極的に学べるようにする。
3. 年間に何回かはビデオを見たりして現代のドイツの人々の生活や風物に触れて、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。
4. 小グループを作っていつもそれを中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習を進め、全体がなごやかな雰囲気の中で学習できるようにする。

【評価方法】

ふだんの学習状況などの平常点とレポートおよび会話および筆記試験で行う。

【授業科目名】 選択語学 I - 1、2 独語

【担当者】 川原美江

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

コミュニケーション主体のドイツ語を学ぶことにより、異文化に対する理解を深める。

【テキスト・参考書】

「ドイツへ行こう」(三修社) を使用する。

授 業 計 画

外国語を学ぶ際、文法事項のみに追いつける学習方法では、語学嫌いの原因となる。この授業では、テキストの Dialog を中心に会話練習や問題を通して、生きた言葉を身につける訓練をこなす。その知識の定着を図り、学生にレポートを課すこととする。

【評価方法】

出席日数、レポート、学期末の試験を総合的に判定する。

【授業科目名】 選択語学Ⅰ－１、２仏語

【担当者】 村山知恵

【開講期】 1 年 前期・後期

【授業目標】

英語以外の新しい外国語を、楽しく学びながら、フランスの文化、歴史、現代の生活などを知ることができたらどんなに良いかと思います。又、4年生の大学に編入するときにも役に立つフランス語を習得したいと思います。

【テキスト・参考書】

” Bienvenue en France ” : ビデオ教材
「フランス語への旅立ち」 : 文法教材

授 業 計 画

- 1 毎週前半は文法の教材を用い、英語と同じアルファベットを用いながら、英語とかなり違う発音、英語に近いとは言え微妙に違う文法を中心に学びます。
- 2 毎週後半の授業では、ビデオ教材を使い、実際のフランス語を耳で聞き、フランスの文化、歴史をじかに学べればと思います。

【評価方法】

評価は定期試験によります。

【授業科目名】 選択語学Ⅰ 海外語学研修

【担当者】 中島好伸

【開講期】 1年 前期の事前指導、8月にLeeds Metropolitan Universityにおいて英語研修

【授業目標】

イングランド中部のLeeds市でホームステイして、英国の家庭生活を経験しながら、上記大学において3週間の英語研修を行う。この経験を通して、英国の文化と生活に必要な英語力を身につける

【テキスト・参考書】

未定（開講時に指示）

授 業 計 画

1. 事前指導では：

- a) イギリスの文化・生活に関する基本的な表現を学ぶ。
- b) 生活、習慣についての予備知識を学ぶ。
- c) 研修に必要な情報や注意事項を与える。
- d) 旅行会社からの情報を伝え、必要なパスポート等の手続きをする。

2. 現地では：

- a) クラス分けをして効率的に学べるようにする。
- b) 午前中に2コマ、午後は主としてキャンパス内外での見学、調査。
- c) 週末にバスでexcursionを行い、歴史、文化、自然などに接する。
- d) 家庭では宿題をしたり、家族と団らんして英語だけの生活をする。
- e) 大学での研修後、ロンドンに戻り、市内見学をする。

【評価方法】

- 1. 大学での研修は現地の教員が評価を行う。
- 2. 参加状態を記録しておいて帰国後、1.と合わせて総合的に評価する。

【授業科目名】 スポーツA (バドミントン・卓球)

【担当者】 松岡由紀子

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】 ・スポーツをすることによって、運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。
・運動技能と知識の習得及び態度の育成。

【テキスト・参考書】

授 業 計 画

技能練習とゲーム

〔バドミントン〕

- 1、グリップとシャトル慣れ
- 2、ストロークの練習
- 3、サービスの練習
- 4、集団技能の練習
- 5、ゲームとルール、審判法

〔卓球〕

- 1、ボール慣れ
- 2、素振りと正しいフットワーク
- 3、フォアトップ打ち、バックショート、ツッツキの練習
- 4、どのコースでも打てるようにする
- 5、正規のサービスが出せるようにする（変化サービスも）
- 6、各種打法の練習
- 7、ゲームとルール、審判法

【評価方法】

平常点とゲーム中に採点

【授業科目名】	スポーツA (テニス)	【担当者】	岡田光弘
【開講期】	1 年 前期		
【授業目標】	<p>段階的に技術を学ぶなかで、試合の仕方、練習の方法、観戦の見方について習得すること 目標は、自分たちだけで試合ができること</p>		
【テキスト・参考書】	<p>日本プロテニス協会編「テニス教本」スキージャーナル 1994 ISBN4-7899-2044-5 C0075 P2400E</p>		
授 業 計 画			
<p>以下の技術について基礎技術の練習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボレー (フォア、バック) 2. ストローク (フォア、バック) 3. サーブ <p>自分たちだけで試合ができることを目標に以下の順で進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミニゲーム 2. ドリル 3. ダブルスのゲーム 4. タイブレイク形式でのゲーム 			
【評価方法】	<p>評価項目(技術、知識、態度)、知識についてはテストを行う。</p>		

【授業科目名】 スポーツA (バレーボール)

【担当者】 池森隆虎

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

6人制バレーボールをルールに則って楽しく行えるようになることを目標とする。

【テキスト・参考書】

授 業 計 画

基本動作の説明と技術練習

(オーバーハンド・アンダーハンドのレフト及びスパイク、サービス)

ルール及び基本的作戦の説明と実践

(ゲーム進行、得点、審判法、ポジショニング)

ゲームの実践

(リーグ戦)

【評価方法】

出席を重視、その他として参加態度、習熟度、技術度、等を加点対象として考慮する。

【授業科目名】 スポーツA (エアロビクス)

【担当者】 飯塚真穂

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 エアロビクスダンスの基礎理論を理解し、実践を通して、健康で美しい身体、積極的な行動を可能にする身体をつくる。

【テキスト・参考書】

授 業 計 画

1. ストレッチーより大きく自由に身体を動かせるよう、柔軟性を高める。

腹筋のトレーニングー正しい姿勢の保持、腰痛の防止などに有効な腹筋力を強化する。

2. ダンスプログラムの練習

基本的なステップで構成された3～4分程度の短いプログラムを覚える。

使用曲: “Try Me”
“Danger Zone”
“Season” など

3. プログラムの基本構成、音楽の選定や時間配分などを学び、日々の生活に気軽に運動を取り入れられるようにする。

※必ず運動可能な服装に着替えて出席すること。
ケガの防止のためにもアクセサリーははずすこと。

【評価方法】 出席+授業への参加態度+実技テストによって評価する。

【授業科目名】 スポーツB (スキー)	【担当者】 村田 務
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スキーの特性について理解し、その知識と技能（歩行、滑降、回転など）について習得できるようにする。 2 雪上環境に対する対処能力を高める。 3 スキーを親しみ愛好する能力と態度を伸ばす。 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>参考書 貝谷昌禧：初歩からのスキー、成美堂、1996年。 インターアルペン：スキーレッスン、スキージャーナル社、1996年。</p>	
授 業 計 画	
<p>生活の場から自然が失われ、自然との共存が課題となってきた今日、自然環境を活用したスキーは、スポーツとしてだけでなく、健康の増進やレクリエーションとしても、極めて効果的である。しかし、雪上でのスキーは、さまざまな自然条件の影響を受けやすく（事故災害）、また、技能の習得において個人差が生じやすい。</p> <p>そこで、自然にふれ合うことの楽しさや喜びを十分に体験させるとともに、斜面や雪の状態に応じた適切な技能と判断能力が得られるよう、技能クラスごとに指導したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、日 程 1998年 1月26日（月） 計画、準備（学内B21、15:00～） 2月23日（月）～26日（木） スキー実習（現地） 2、場 所 学内及び「上越国際スキー場」（新潟県塩沢町） 3、参加者 学生30名、教員3名 4、内 容 ・計画、準備 ・スキー実習 第1日目：移動、スキー実技、講義 第2日目：スキー実技、講義 第3日目：スキー実技、評価 第4日目：スキー実技、ツアー、移動 ・実習内容 ：歩行、登行、方向転換、滑降、回転（プルークボーゲン、シュテムターン、パラレルターン、ステップターン等）、用具メンテナンス他 5、費 用 約47,730円（交通費、宿泊費：夕朝食費含む、保険料、手数料） *他に昼食費が必要となる。 *スキー用具、ウエアーをレンタルする場合、各7,500円、4,500円が加算される。 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常試験（実技、意欲等）</p>	

【授業科目名】 健康科学

【担当者】 村田 務

【開講期】 1年 前期

【授業目標】

人間性豊かで健康的な生活を確立するために必要な能力と態度を養う。

- ・今日の健康問題について
- ・健康の破壊と成立について
- ・健康の設計と処方について

【テキスト・参考書】

参考書 宗像恒次：行動科学からみた健康と病気、メヂカルフレンド社、1990年。
宇土正彦・正木健雄監修：青年の健康と運動、現代教育社、1995年。

授 業 計 画

人間性豊かで健康的な生活を営むためには、健康問題の本質を正しく捉え、解決に向けての適切な判断力と実践的な行動能力が必要となる。また、今日の健康問題は、その多くが社会的、文化的な環境に大きな影響をうけている。そして、その解決には、人間の生物学的側面や行動学的側面はもとより、環境的側面及び保健医療体制的側面を抜きにしては考えられない。

授業では、このような健康観に立って、疾病予防と健康増進の学問としての健康科学の知見や考え方について紹介・概説する。

- 1、健康科学の概念
- 2、健康と病気に対する考え方
- 3、今日の健康問題
- 4、疾病の疫学と健康成立のモデル
- 5、主体と健康（疫学からみた女の病気・男の病気）
- 6、環境と健康（アレルギー）
- 9、保健医療体制（保健行政と医療機関・保険制度、薬害）
- 7、保健行動のモデル
- 8、保健行動と健康（AIDS、タバコ）
- 10、食事と健康（健康によい食べ物、食べかた）
- 11、運動と健康（摂取エネルギーと消費エネルギー）

【評価方法】

定期試験（ペーパーテスト）及び平常点

【授業科目名】 スポーツ科学

【担当者】 岡田光弘

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

- ・スポーツを見て楽しめるようになる、やってみたくなること
- ・スポーツを社会現象としてみる眼を養うこと

【テキスト・参考書】

日本プロテニス協会編「テニス教本」スキージャーナル 1994
AERA Mook「スポーツ学のみかた」朝日新聞社 1997

授 業 計 画

以下のようなトピックを扱うことを計画している。

1. スポーツ科学の全体像
2. ボブスレーと陸上競技
3. ジャンプ競技と揚抗比
4. 滑降競技と乳酸
5. ドーピング問題と私たちの日常生活
6. スポーツ・栄養・ダイエット
7. スポーツのフレーム分析
8. スポーツ解説の会話分析
9. 遊びとスポーツ
10. スポーツの構成的なルール

【評価方法】

各時間ごとの提出物と期末のレポートで評価する。

專門教育科目（1年）

【授業科目名】 発達心理学 I	【担当者】 神田信彦
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 心理的発達のプロセスを知り、人間理解を深める。	
【テキスト・参考書】 必要に応じ資料を配布する。	
授 業 計 画	
<p>前半では、乳児期から青年期までの全体的な心理的諸側面の発達について講義を行う。 後半では、認知、言語・思考や社会性の発達などの領域ごとに発達のプロセスについて講義を行う予定である。 講義予定は、概ね以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発達心理学とは 2. 乳児期の心理的発達（2週） 3. 幼児期の心理的発達（2週） 4. 学童期の心理的発達 5. 思春期の心理的発達（2週） 6. 認知の発達のプロセス 7. 言語と思考の発達のプロセス 8. 社会性の発達のプロセス（2週） 9. 発達と適応 	
【評価方法】 平常点（含む小レポート）及び定期試験 出席重視	

【授業科目名】 発達心理学Ⅱ	【担当者】 林 潔
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>この時間では、今日の青年期の人々の特徴と行動様式について学習します。 あわせて、人間の問題に対する心理学の基本的アプローチの方法についてとりあげます。 これについては、関係する授業も他にありますので、この時間では青年期の問題についての精神分析的アプローチの紹介に4講時ほどとりたいと思います。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト： 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 山田和夫「成熟拒否」、稲村博「思春期挫折症候群」、荘巖舜哉「親と子の病理」、 霜田静志、他「自己分析を語る」、小此木啓吾「モラトリアム人間の時代」、 クラウス、他「親と子のきづな」、深沢道子、他「拒む心・求める心への接近」、その他</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 序：青年心理学の背景：心理学の発展とその応用面への適用。 2. 発達段階としての青年期。 3. 発達課題と自我同一性（identity）をめぐる問題。 4. 人間の問題へのアプローチ：学習理論，ゲシュタルト理論 5. 精神分析概説（1）：Freudの思想 6. 同 （2）：libidoの発達（1） 7. 同 （3）：libidoの発達（2），自我の防衛（1） 8. 同 （4）：自我の防衛（2） 9. 適応障害：青年期の適応障害の概観 10. 講演会：心理学科卒業生「心理学と私」（仮題） 11. 青年期の問題行動：神経症，自殺，非行 12. 同 ：うつ 13. 青年期の問題への対処：カウンセリング，心理療法の役割 	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点，中間試験，期末試験</p>	

【授業科目名】 知覚心理学	【担当者】 金子 尚弘
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】 感覚器官の働きに関する知識を深め、視覚刺激や聴覚刺激がどのように取り込まれるのか、取り込まれた刺激はどのように知覚されるのかといった事柄を理解し説明できるようになることを目標とする。具体的には3D図版や映画、遊園地の疑似宇宙旅行の仕組みの説明や、「なぜ、地平線近くの月が大きく見えることがあるのか」といった疑問に答えられるようにする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 授業の進行に伴い、適宜紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1、知覚とは何か？ スライドとビデオ「感覚と知覚」 知覚のさまざまな例を、スライドとビデオで学ぶ。 2、幻覚、幻視、幻聴、錯覚、錯視。ビデオ「INFINETE ESCHER」 私たちは、実際にあるものをその通り知覚しているわけではない。 3、感覚器官と感覚刺激の話ー視覚。ビデオ「感覚器の構造と働き」 我々にとって最も重要な感覚である視覚について理解する。 4、色の知覚、ビデオ「Colour」 色の光学的性質や弁別や錯覚など、色の知覚について学ぶ。 5、カラーコーディネーション 色の使い方、組み合わせ方の心理学を学ぶ。 6、聴覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚、体制感覚、時間感覚 視覚以外の感覚器と、音、味、匂いの性質やその知覚について学ぶ。 7、錯視の種類とそのメカニズム。ビデオ「視覚的錯覚と知覚過程」 錯視の現象だけを取り上げて、その原因を分類し知覚について考える。 8、知覚理論、ギブソンの考え方とニュールックの考え方。ビデオ「万全の着陸と知覚」 さて、知覚とはどのようなことなのかを理論的にまとめてみる。 9、知覚情報処理。ビデオ「キューとスキーマ」 我々は、どのようにして外界を知覚しているのだろうか。 10、知覚メカニズムのシュミレーション。ビデオ「知覚プログラム：ポパイ」 私たちと同じような知覚メカニズムを、コンピュータがまねできるだろうか。 11、音の知覚、音源定位と聴空間の知覚 音の知覚や、音源定位を実際に体験する。 12、味と匂いの知覚、時間の知覚 味、匂い、時間の知覚を実際に体験する。 13、精神物理学的測定法、官能検査、域値、感覚尺度 知覚の測定方法や、実際生活での応用分野について学ぶ。 <p>その他、ビデオ「ビジュアルイリュージョン」「開眼手術ー初めて見る世界ー」</p>	
<p>【評価方法】 学期末試験期間中に実施するペーパーテストと適宜行う小テストによって評価する。</p>	

【授業科目名】 学習心理学 I

【担当者】 荻野七重

【開講期】 1年前期

【授業目標】

人間に行動の変容を引き起こす過程（学習）に見られる最も基本的な形態であり、行動分析の手法でもある条件付けについて理解させることを主な目的とする。

【テキスト・参考書】

テキストとして下記のものを用いる。なお、このテキストは2年前期の「記憶と思考」のテキストとしても用いることがある。

「学習心理学」行動と認知 山内・春木編著（サイエンス社）

授 業 計 画

1. 学習とはなにか

2. 古典的条件づけ

始めに I. P. パヴロフの行った古典的条件づけの典型的実験例によって、この条件づけについての基本的概念を確立し、さらに他の古典的条件づけの実験例、あるいは日常生活に見られる事例を通して、古典的条件づけについての理解を深める。また多くの実験によって明らかにされたところの、古典的条件づけに関連した現象や法則を示す。

テキスト 1章

3. オペラント条件づけ

B. F. スキナーの典型的実験例によって、オペラント条件づけとはどのようなものか、古典的条件づけとどのように異なっているのかを明確にする。また多くの実験によって示された、オペラント条件づけに関連した現象や法則を示し、オペラント条件づけによって日常生活に見られるどのような事象を説明することができるか、またどのように教育や臨床場面に応用されるかを示す。

テキスト 2章

4. 社会的学習

自分自身の直接的体験によってではなく、他人の体験や経験を見聞きすることで起こる学習（社会的学習）のメカニズムを見ていく。

テキスト 4章

【評価方法】

定期試験にペーパーテストを行う。

【授業科目名】 学習心理学Ⅱ	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 思考に関する多くの実験的研究によって示された事実や理論を示す。特にことば、概念の獲得と発達的变化の過程を見ていく。</p> <p>記憶については、記録する材料、時間的要因、個人の持っている知識等がどのように記憶の3つの過程、記名、保持、想起（忘却）において作用するかを見ていく。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストとして下記のものを用いる。なおこのテキストは1年後期の開校の「条件づけ」に用いたものであり、この授業ではその後半部分を使用する。</p> <p>「学習心理学」行動と認知 山内・春木編著（サイエンス社）</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 問題解決と推理</p> <p>問題解決過程にたいする3つの異なるアプローチ 認知の発達と推理（J. P. ピアジェ） 演繹的推理と機能的推理 創造性（集中的思考と分散的思考）</p>	<p>テキスト 5章</p>
<p>2. 概念過程と言語の獲得</p> <p>概念の構造と概念学習 言語の獲得と思考</p>	<p>テキスト 6章</p>
<p>3. 記憶と忘却</p> <p>記憶とは何か 記憶の研究法（記録材料と測定法） 短期記憶と長期記憶 忘却 記憶術</p>	<p>テキスト 7章</p>
<p>4. 有意味材料の記憶</p> <p>エピソード記憶と意味記憶 記憶の変容</p>	<p>テキスト 8章</p>
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験時にペーパーテストを行う。</p>	

【授業科目名】 臨床心理学 **【担当者】** 若山隆良

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 心理療法の理論と実際を、できるだけ実際の事例に触れながら講義し、「心理療法とはどういうもので、どのようにして行われるのか」ということについて、大まかなイメージをもてるようにすることを目的とする。

【テキスト・参考書】

カウンセリング事例集、別冊『発達』、ミネルヴァ書房

授 業 計 画

授業ではできるだけ多くの事例に接することができるようにしたい、その中で学生諸君が自らの感性を通して、いろいろなことを考えたり感じたりしてほしい。できるかぎり学生諸君にとっても親しみやすい事例を紹介する中で、理論的な解説も加えるようにしていきたい。

どのような事例をどのような順序でとりあげるかについては、授業の中で受講者諸君の意見や希望を取り入れながら、適宜きめてゆきたい。

【評価方法】
期末のレポートと授業中の発言をそれぞれ50%づつとして評価を行う。

【授業科目名】 生理心理学	【担当者】 多喜乃 亮介
【開講期】 (1年後期)	
<p>【授業目標】 心を成立させる脳の働きを理解するための、基本的な神経系の構造と働きについて学習します。神経のレベルで生じる変化が私たちの行動とどのように結びついているのか、神経系に生ずる物質的な変化が私たちの心にどのような影響をもたらすのか、といった視点から関連する研究成果を概観します。</p>	
<p>【参考書】 森 昭胤、『脳 100の新知識』、講談社、1991 フロイド・E・ブルーム 他、『脳の探検』、講談社、1987 時実利彦、『脳の話』、岩波新書(青版)、1962 久保田 競 他、『脳の手帖』、講談社、1985</p>	
授 業 計 画	
<p>まず神経系の分類と構造に関する知識を習得します。神経細胞の発達の側面、神経細胞同士の情報伝達方法、環境から受ける刺激の伝達とそれに対する反応、記憶がどのように貯えられるのか、代表的な脳内中枢機能、といったトピックスを取り上げます。さらに神経細胞の情報伝達に必要な物質的基盤に関する学習をとおして、心の病に対する生物学的なアプローチや、心に作用する薬物に関する基礎的な理解を得ます。</p> <p>以下の項目に従って講義を進める予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の座をもとめて [心身二元論、骨相学、機能局在論、神経回路] ・神経系を作り上げるもの [ニューロン、シナプス、グリア、保護組織、インパルス] ・インパルスの伝導とシナプス伝達 [閾値、Na-Kポンプ、跳躍伝導、全か無の法則、シナプス後電位、促通と抑制] ・末梢神経系の分類と構造 [脊髄神経、脳神経、体性神経系、自律神経系] ・中枢神経系の分類と構造 [脊髄、脳幹、小脳、間脳、基底核、辺縁系、大脳皮質] ・反射中枢 [脊髄反射、脳幹反射] ・脳の機能地図 [感覚野、運動野、聴覚野、視覚野] ・脳の高次機能 [失認、失行、失語、分割脳、健忘、連合野の機能] ・神経系に働く物質 [神経伝達物質、イオンチャネル、向精神薬] ・神経系の可塑性と機能再生 [長期増強、発芽、神経成長因子(NGF)、膜タンパク質、代償] 	
<p>【評価方法】 授業中の提出物と定期試験の合計により評価します。</p>	

【授業科目名】 基礎技法演習

【担当者】 菅本康之

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

女性の心理の形成を「セラピー」と「文化論」の二つの視点から探る。これまでの心理学が持っていた「男性中心主義」的な問題点を文化分析を通してあきらかにし、各自がその解決の方向を考える出発点とする。

【テキスト・参考書】

テキスト：L.A.イヴァム「S.オバック『フェミニスト・セラピー』」（新水社）
ロビン・ノーウッド『愛しすぎる女』（読売新聞社）
参考書：適宜紹介する

授 業 計 画

- (1)授業計画と評価の基準・方法の説明
学生の自己紹介1
※自己紹介を通して、自分というものを現状においてどう評価しているかを知る。
- (2)学生の自己紹介2および＜ジェンダー概念の定義＞
※ジェンダー・アイデンティティとは何かを理解する
- (3)＜対象関係理論とジェンダー・アイデンティティ＞
※フェミニスト・セラピーの位置づけ
- (4)＜「女性心理」の具体例＞（『愛しすぎる女』をテキストにして）
※「女性心理」が産み出す「病」を理解する。レポート提出
- (5)女らしさの組立て その1、＜母＝娘関係のなかで形成される心理＞
※自分の母娘関係を対象化する
- (6)ビデオ観賞1 『エミリーの未来』
※映画を通して母娘の関係を理解する
- (7)ビデオ観賞2 『エミリーの未来』
※映画を通して母娘の関係を理解する
- (8)「家族」と「女性」
※「家族」のなかでの女性の位置を理解する
- (9)女らしさの組立て その2、＜文化と性 日本のセクシャルハラスメントの現状＞
※自分達が生きている社会がどういう社会であるかを理解する
- (10)女らしさ（男らしさ）の組立て その3、＜文化と性 メディア・レイプ＞
※メディアいかに性差別をつくりだし、維持しているかを理解する
- (11)フェミニスト・セラピー その1、＜セクシャル・アビューズの体験記を読む＞
※体験記に対し持った感想を通して自己を理解する
- (12)フェミニスト・セラピー その2、＜セラピストがやるべきこと＞
- (13)まとめ
※女性心理と文化の関係を理解できたか

【評価方法】

レポートと授業時の感想文

【授業科目名】 心理学演習Ⅰ 【担当者】 荻野、金子、神田、多喜乃、倉沢、大木、中丸、中江

【開講期】 1年前期

【授業目標】

基礎的な心理学実験に参加し、実験者と被験者の両者を体験することから、実験心理学的な問題設定がどこにあり、人のどのような側面について検討を加えているのかを理解し、データに基づいて考察を進める態度を学ぶ。同時に、実験的手法、データの収集と処理法、数量化や図式化、レポートのまとめ方、などを習得する。

【テキスト・参考書】

「実験演習の手引き」と、各実験毎に実験方法とデータ整理方法などをまとめたプリント配布する。

授 業 計 画

15～16人のグループに別れ、授業時間内に終了するように計画された基礎実験を行う。

実験は担当教員から実験の目的、方法について説明を受けた後、互いに実験者と被験者となって実験を行いデータを集める。その後、担当教員からデータの処理法、考察の要点等、レポートの作成に必要な要点についての説明を受け、次回の実験の前日までに各自レポートを書き、提出する。

実験は、1回の授業枠で終了する比較的簡単なもの（実験A）と、条件設定がやや複雑になったり、データの量が大きくなったりするため2週にわたって行われるもの（実験B）から構成され、実験の順序はグループによって異なる。

導入実験：ミューラー・リャーの錯視

実験A：鏡映描写 大きさの恒常 色名呼称 情報の伝達と変容

実験B：反応時間 要求水準

全体の予定は以下の通り。

- 第 1回 オリエンテーション（実験時の注意、レポートの書き方等）
- 第 2回 導入実験
- 第 3回 実験A-1
- 第 4回 実験A-2
- 第 5回 実験A-1のレポートの講評
- 第 6回 実験A-3
- 第 7回 実験A-4
- 第 8回 実験B-1（第1週）
- 第 9回 実験B-1（第2週）
- 第10回 実験B-2（第1週）
- 第11回 実験B-2（第2週）
- 第12回 実験B-1のレポートの講評

【評価方法】

実験のレポートの評価による。

【授業科目名】 心理学演習Ⅱ 【担当者】 荻野、金子、神田、多喜乃、倉沢、大木、中丸、中江

【開講期】 1年後期

【授業目標】

演習Ⅰでは実験室での基礎実験を中心としたが、演習Ⅱでは課題に広がりを持たせて演習時間を長くとり、動物実験のほか、実験室に限定されない場面での調査や心理テストなども行う。調査では、こうした手法が恣意的なものにならないための工夫や代表的なデータ化の手法、心理テストではその実施方法と判定・診断法等を学習する。また、動物の実験経験し、人以外の動物と比較しながら人の行動を理解するアプローチを学習する。

【テキスト・参考書】

各実験毎に実験方法、データの処理方法、実験結果についての考察の要点などをまとめたプリントを配布する。

授 業 計 画

実験演習Ⅰと同様、15～16人のグループに別れて行う。実験Ⅰと異なり、4つの主要な実験（調査等を含む）は2週を単位として行われる。ほかに1週間単位の心理テストが2種類入る。実験Ⅰと異なり、授業時間外での実験や、データの収集も行われる。また、後期授業終了後に行われる、2年生の卒業研究発表会に参加し、感想文を書き、提出しなければならない。

実験／調査：オペラント条件づけ 項目分析 SD法 ソシオメトリー

心理テスト：YG性格検査 内田クレペリン精神検査

全体の予定は以下の通り。

- 第 1回 オリエンテーション（演習Ⅱで求められる内容について）
- 第 2回 実験／調査1（第1週）
- 第 3回 実験／調査1（第2週）
- 第 4回 実験／調査2（第1週）
- 第 5回 実験／調査2（第2週）
- 第 6回 実験／調査1のレポートの講評
- 第 7回 心理テスト1
- 第 8回 実験／調査3（第1週）
- 第 9回 実験／調査3（第2週）
- 第10回 実験／調査4（第1週）
- 第11回 実験／調査4（第2週）
- 第12回 心理テスト2

【評価方法】

実験／調査のレポートおよび、心理テストのレポートの評価による。

【授業科目名】 心理学総合演習	【担当者】 林 潔
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 心理学の英文になれ、あわせて英語の専門用語を知る。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 copyを用意します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>Intelligence What is intelligence? Is there a general factor of intelligence? How is intelligence measured? What is an IQ? How are IQ scores distributed in the person? Is there a genetic basis for intelligence? Are IQ tests reliable? Are IQ tests valid? Do IQ tests measure creativity? Are IQ tests fair to all cultural groups? Do the faults of IQ tests outweigh their usefulness?</p> <p>Australiaの高校生向きのテキストのcopyを使います。 逐語訳が中心です。必ず予習をしてきて下さい。また英和辞書は必ず持参して下さい。</p>	
<p>【評価方法】 平常点</p>	

【授業科目名】心理学総合演習

【担当者】神田信彦

【開講期】 1年後期

【授業目標】

心理学の考え方や方法について基礎的な知識を得るとともに、文献を独自の視点で捉え、批判的に考察を行うトレーニングを行う。

【テキスト・参考書】

資料を配布予定

授 業 計 画

各回ごとに、予め決められた発表担当者が、担当部分についての要約を作成した上で発表を行う。別に進行係を決め、討論を進める（各回とも出席者全員が、複数回の発言を行う）。この作業を通じて、テーマへの理解を深めるとともに、考えることの面白さを体験していく。
以下のテーマを予定している。

I. 心理学の視点

1. 心理学のさまざまな視点の理解
2. 基礎と応用の関係
3. 心理学の研究の進め方

II. 心理学のトピック

4. 自己知覚と対人知覚
5. 言葉と感情・思考の発達
6. 動機づけ

【評価方法】

平常点（演習への関与度等）

出席重視

【授業科目名】 心理学総合演習	【担当者】 高橋浩子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 心理学の基礎知識の習得 2 女性のライフサイクルにおける危機と、そのサインとして現れる様々な症状について 3 女性を取り巻く環境についての考察を行う 	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p style="text-align: center;">女性のためのライフサイクル入門 岡本祐子・松下美智子編 福村出版</p>	
授 業 計 画	
<p>このテキストでは、主に女性のライフサイクル上の課題について扱っています。特に臨床的に生じやすい問題に重点をおきながら、ライフサイクルをたどっていきます。受講生は、自分自身の問題や、生活、家族について考えるきっかけを得ることでしょう。また、外国の出版物等も紹介しながら、生き方に関する考え方のちがいについても取り上げていきます。討論への積極的参加を期待します。</p> <p>テキストで取り上げる内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児期 女の子として生まれるということ 児童期 性別の認知と受容 思春期 体と心の変化 他者との出会い 青年期 自分らしい生き方をもとめて 若い成人期 仕事 結婚 母親になること 中年期 中年期に見られる心身の変化とアイデンティティ危機 老年期 老化と病気のちがい 役割の変化 女性と自己実現 	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">平常点</p>	

【授業科目名】 心理学総合演習	【担当者】 池田善英
【開講期】 1年 後期	
【授業目標】 ①心理学の考え方や方法について、基礎的な知識を得る。 ②文献の内容を報告するための、基礎的な技術を身につける。	
【テキスト・参考書】 テキスト：レイ・ブル／ニコラ・ラムズィ著 仁平義明監訳 「人間にとって顔とは何か」（講談社ブルーバックス）	
授 業 計 画	
<p>「他人を外見で判断してはいけない」と言われます。ことわざがあるくらい、人は他人を外見で判断しています。では顔は人生にとってどれくらいの影響を及ぼしているのでしょうか、具体的にどのような場面でどのような影響があるのでしょうか。テキストは対人場面の心理に顔が及ぼす影響について、社会心理学の立場から検討しています。</p> <p>学生の皆さんはテキストに書いてあることを、身近な経験と照らし合わせながら読んで下さい。その内容で納得のいくこともあるでしょう。しかし鵜呑みにしてはいけません。「ちょっと違うな」と感じることを探し、どこがどう違うのかを明らかにするよう考えてみて下さい。</p> <p>テキストを読み進めるに当たって、まず始めは全体で輪読していきます。受講生の皆さんがある程度慣れたところで、分担しながらレジメに基づいて報告してもらうようにします。要領よく報告することは、なかなか難しいものです。まず自分が深く理解し、ポイントをまとめ、聞き手の立場にたって分かりやすく説明して下さい。</p> <p>なお時間の制約があるため、テキストの全てに触れることは難しいと思います。一方で必要に応じて、別の資料も紹介したいと思います。また成績評価に際しては授業時の活動を重視しますし、受講生の皆さんが積極的に参加してくれるよう期待します。なおテキストの構成は、以下の通りです。</p> <p>「イントロダクション」、「恋愛にとって、顔とは何かを考えてみる」、「『顔』のいい人は信頼されるのか」、「罪を犯しそうな『顔』はあるか」、「学校は『かわいい子』に有利な場所か」、「子どもの『顔』で大人の態度はどう変わるか」、「見にくい人はどこまで『損』か」、「容貌で不利益を被る人に、どんな支援ができるか」、「最後に『顔』の魅力を探ってみる」。</p>	
【評価方法】 ①レポート ②平常点	

【授業科目名】 心理統計Ⅰ	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 心理学の実験や調査に必要な統計学の基本を理解させる。 記述統計学の習得。	
【テキスト・参考書】 テキストとして下記のものを用いる。 「心理・教育のための統計法」 山内光哉著 (サイエンス社) 6章まで 7章以降は心理統計Ⅱで使われる。	
授 業 計 画	
<p>1章 統計法と測定値</p> <p>2章 度数分布と統計図表</p> <p>3章 中心傾向の測度</p> <p>4章 得点の散布度</p> <p>5章 正規分布と相対的位置</p> <p>6章 直線相関と直線回帰</p> <p>授業では電卓を用いる。機種は学科で指定し、生協で販売する。すでに指定された機種に相当するものを持っている場合は購入しなくとも良い。電卓は心理学演習等、他の授業でも使われる。</p>	
【評価方法】 中間テストと定期試験の結果で評価する。テキストおよび電卓の持ち込みは可。	

【授業科目名】 心理統計Ⅱ	【担当者】 荻野七重
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 心理学の実験や調査によって得られるデータは、母集団から得られる標本であるという認識を確立させ、得られたデータから結論を導くための統計的手法（推測統計学）を習得させる。	
【テキスト・参考書】 テキストとして、心理統計Ⅰで用いたものを引き続き使用する。 「心理と教育のための統計法」 山内光哉（サイエンス社） 7章から	
授 業 計 画	
<p>7章 母集団と標本</p> <p>8章 統計的仮説の検定と区間推定 理論と用語</p> <p>9章 2つの平均の差の検定と区間推定</p> <p>10章 分散分析入門 1要因の場合</p> <p>11章 より複雑な分散分析 要因計画</p> <p>12章 カイ2乗検定</p> <p>13章 順位による統計法</p> <p>14章 ピアソンの r の検定と種々な相関係数</p> <p>8、9、10、12章を重視して授業を行う。従って11、13、14章は授業の様子により、省略する事がある。</p>	
【評価方法】 中間テスト（複数回）と定期試験とを行う。教科書及び電卓の持ち込み可。	

【授業科目名】 心理統計Ⅱ

【担当者】 金子 尚弘

【開講期】 1年後期

【授業目標】

心理学の実験や調査で使われる基礎的な検定について、その考え方や、使い方についての簡単な知識と、計算方法や統計表の使い方が確実に獲得できるよう、毎回テストを実施して忘れないようにする。計算方法を記憶する必要はないので、方法を忘れても参照すべき箇所を的確に探し出せるようにすることを目標とする。

【テキスト・参考書】

テキストは後期開始前に掲示する。授業には必ず持参すること。

授 業 計 画

- 1、この授業の進め方と統計法を使用する時の注意すべき点について話し、前期の復習として、独立変数－依存変数、質的変数－量的変数、正規分布、標準偏差と不偏標準偏差、統計の記号統計計算機の使い方などについて確認する。
- 2、母集団と標本 母集団とは何か、標本抽出の意味と方法、母集団と標本の統計量標準誤差－抽出された標本は毎回誤差がでること、誤差は特定の分布をすること
- 3、統計的仮説の検定と区間推定
統計的仮説、仮説による検定、統計的判断の基準、検定の方向性
母分散がわかっている場合の仮説検定
母分散がわからない場合の仮説検定、自由度とは何か
平均値の区間推定－母集団の平均値はどれくらいか
- 4、2つの平均値の差の検定と区間推定
独立と考えられる2つの標本の平均値の差の検定と区間推定
関連している2つの標本の平均値の差の検定と区間推定
- 5、1分散分析入門－1要因の場合
分散分析における仮定
2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が同じ場合）
2個以上の平均値の差の検定（各標本のデータ数が異なる場合）
- 6、より複雑な分散分析－1要因計画
要因が2つ以上ある場合と要因計画、要因の相互作用と結果の解釈
- 7、カイ2乗検定
カイ2乗を用いたさまざまな検定
独立性の検定－生まれ順は政治的態度と関係があるか
比率の等質性の検定－2つの集団の年齢分布は等しいか

【評価方法】

毎回、出欠調べを兼ねてテストを実施する。教科書、プリント、電卓を忘れないこと。テスト得点の合計をテスト実施回数で除して評価するので、欠席しないこと。

【授業科目名】 情報処理Ⅰ	【担当者】 多喜乃 亮介
【開講期】 (1年前期)	
<p>【授業目標】 コンピュータが身近に利用できる環境になり、さまざまな「情報」をコンピュータに「記憶」させ、必要に応じて「利用」し、ネットワークを介して「共有」する時代になってきました。「情報」というものものしいですが、身の回りの「文書」や「写真」、あるいは「音」や「絵」といった「題材」を整理したものです。こうした「情報」を扱う「道具」としてのコンピュータ利用から出発し、簡単な数値データの処理も扱えるようにします。</p>	
<p>【参考書】 「できるWord95」、田中 亘著、インプレス社 「できるExcel95」、コアダンプ&インプレス編集部編、インプレス社</p>	
授 業 計 画	
<p>実際にコンピュータを操作して「情報処理」に関連する諸概念を習得します。そのためにはキーボードが楽に使えるようになる必要があります。すでにキーボードを使える人もいるかもしれませんが、初めはキーボードやマウスといった入力装置の使い方からスタートします。キーボードとマウスの練習を兼ねて、ネットワーク上のメールの利用、ホームページの閲覧、検索、作成などを行います。次に市販されている「ソフトウェア」を使って、どのように「情報」を「ファイル」として保存できるのか、その「情報」をどのように「検索」し、どのように「再利用」、「再加工」できるのかを理解します。また、表計算プログラムを使って数値データの処理を試みます。最後に、ファイルに保存された各種の情報をどのように連携して利用できるかを理解します。</p>	
<p>以下の項目を予定しています。</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの仕組み 2. プログラムの起動 3. キーボードに慣れる 4. ネットワークの利用 5. ワードプロソフトを使う 6. ワードプロソフトを使う 7. ワードプロソフトを使う 8. ワードプロソフトを使う 9. 表計算ソフトを使う 10. 表計算ソフトを使う 11. 表計算ソフトを使う 12. 表計算ソフトを使う 13. ワードプロソフトとの連携 	<p>ハードウェアとソフトウェア、ネットワーク オペレーティングシステム、プログラム アルファベット、かな、数字 インターネットメール、WWW 起動と終了、各種文字の入力、単語の登録 ファイル <保存、読み込み> 文書の装飾(加工1) <フォント、書式、図の配置> 文書の装飾(加工2) <表、罫線、図形の作成> 簡単な計算処理 <合計、平均、再計算> 編集機能 <表示形式、罫線、書式> 統計処理Ⅰ <ヒストグラム、各種グラフ> 統計処理Ⅱ <相関、各種検定> 文書に処理結果を張り込む、</p>
<p>【評価方法】 授業中の操作と課題作成</p>	

【授業科目名】 情報処理Ⅰ

【担当者】 森田信一

【開講期】 1 年 前期

【授業目標】

コンピュータを使った情報活用能力をつけるために、ネットワークの活用と文書表現技術を身につけることを目標とする。ネットワークでは、電子メールによるコミュニケーションとインターネットによる情報検索を行ない、ワープロと作図ソフトの活用を行なう。

【テキスト・参考書】

インターネット時代の情報処理テキスト

授 業 計 画

ネットワークの利用技術と、文書表現技術を身につけるため、次のような手順で授業をすすめる。

1. コンピュータについての概説と基本的な操作方法
2. 文字入力と編集の実習
3. インターネット活用とワールドワイドウェブによる情報検索
4. 電子メールの設定と活用
5. ワードプロセッサによる文書作成
6. ビジネス文書や各種文書形式の作成
7. 表や図を含む文書デザインの方法

【評価方法】

日常のレポート提出や出席などによって評価する。

【授業科目名】 情報処理Ⅱ	【担当者】 丸山 有紀子
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>表計算ソフトを使った実習により、データを表に整理し、処理、グラフ化することで、数値データをわかりやすく表現する。データベース機能を使い、収集したデータを有効に活用することを学ぶ。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>インターネット時代の情報処理テキスト（樹村房）</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 表計算ソフトの使い方 用語の解説，基本的な操作，データ入力の仕方。 2. データ入力 数値データの入力，計算（算術関数など），罫線，セルの形式，ワークシートの保存，呼び出し，印刷。 3. グラフ作成 グラフの表示，グラフの種類，グラフの編集，グラフの印刷。 4. データ処理 統計関数。 t検定，相関係数の計算。 5. データベース作成 データベースの説明。 データの入力。 データの並べ換え，データの抽出。 6. ワードプロ文書への貼り付け 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席，および授業中におこなう課題。</p>	

司書科目

【授業科目名】 生涯学習概論 【担当者】 藤田 博

【開講期】 1年 後期

【授業目標】
生涯学習及び社会教育についての理解を図るとともに、学習情報提供、学習相談の意義・方法について解説する

【テキスト・参考書】

授 業 計 画

- 1、生涯学習の意義と基本的な考え方、及び学校教育・社会教育との関係
関連施策・施設の動向等について社会教育法を中心に学習する。
- 2、社会教育の意義と基本的な考え方及び社会教育行政・社会教育の内容
方法、指導者と社会教育施設について、補助教材を使用して学習する。
- 3、学習情報提供、学習相談の意義と内容・方法について事例を中心に学
習を進める

【評価方法】
平常点・レポート提出

【授業科目名】 図書館概論

【担当者】 椎葉 侑子

【開講期】 / 年前期

【授業目標】

生涯学習社会における図書館について考察する。図書館の機能・種類から始めて、図書館政策・行政など社会との関連を学ぶ。これらの基本的な知識は司書科目すべてを理解するのに役立つであろう。

【テキスト・参考書】

「図書館学基礎資料」 今まど子・中村初雄 編著 樹村房

授 業 計 画

図書館とその機能

図書館の種類と現状

1. 国会図書館
2. 公共図書館
3. 大学図書館
4. 学校図書館
5. 専門図書館
6. 類縁機関

図書館の組織と運営

1. 図書館政策・行政・法令
2. 施設
3. 図書館資料・組織化
4. 図書館サービス
5. 図書館員
6. 図書館評価

図書館協力とネットワーク

図書館の自由

【評価方法】

【授業科目名】 図書館経営論

【担当者】 西村 汎子

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】 生涯学習にたいする国民の意識の高まりと、増大する図書、および情報ネットワークの拡大は、図書館の役割をますます大きくしている。新時代にふさわしい明日の図書館をつくるために、図書館員は自分たちの図書館をどのように位置づけ、どのように運営してゆくべきかについて学ぶ。

【テキスト・参考書】

参考書：『図書館・情報センターの経営』（けい草書房 情報学シリーズ4.）

授 業 計 画

図書館が学校・大学・研究機関および市民社会の中で教育・研究と文化の向上のために十分に効力を発揮するためには、館員自身が日常業務の中に埋没することなく、一定の理念のもとに、その図書館が置かれている状況に見合った利用者のための計画を立て、外部機関とも連携しつつどう運営していったらよいかを考えるべきである。

- (1) 図書館経営の基本思想—生涯学習との関係をふくむ
- (2) 行政およびその他の部局との関係
- (3) 図書館の管理と運営
- (4) 図書館長と館員の役割・関係と研修
- (5) 図書館サービス計画の意義と方法—調査・広報の発行をふくむ
- (6) 図書館の整備計画と設備
- (7) 図書館の業務およびサービスの評価
- (8) 情報ネットワーク形成の意義

【評価方法】

筆記試験またはレポート

【授業科目名】 情報検索演習	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年後期	
【授業目標】 表計算ソフトウェアの実習を通してデータベースの作成と検索方法を学ぶ。コンピュータを用いた情報検索の基本的な手法を理解するとともに、ネットワーク環境を利用した情報の探索・検索についても知識を得ることをめざす。	
【テキスト・参考書】 特に指定しない。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報検索の基本的な考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・概念の抽出 ・索引項目の構造 ・見出し語の選定 ・シソーラスの意義と活用 2. 表計算ソフトの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトの基本 ・表計算ソフトによるデータベースの作成と情報検索 3. ネットワーク環境におけるデータベース <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク環境でのデータベースの構築 ・ネットワーク環境でのデータベースの検索 	
【評価方法】 学期中と学期末に課題をネットワーク経由で提出させ、それを評価する。	

【授業科目名】 図書館資料論

【担当者】 椎葉 伸子

【開講期】 / 年 後期

【授業目標】

利用者に資料を提供したり、また、図書館資料にもとづいて情報を提供したりするのは、図書館の重要なサービスである。そのために図書館資料全般について学んでゆく。

【テキスト・参考書】

「図書館学基礎資料」 今まど子・中村初雄 編著 樹村房

授 業 計 画

図書館資料とは
意義・種類・特性

資料の出版流通（図書中心）

資料の構成

構成方針

収集・受け入れ（評価・選択）

管理・保存・利用

除架・廃棄

非図書資料

逐次刊行物・AV資料・マイクロ資料・CD-ROM

各種コレクション

図書館資料と図書館協力

図書館資料と知的自由

【評価方法】

【授業科目名】 資料組織概説	【担当者】 椎葉 伸子
【開講期】 1 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>図書館目録は、まず利用者が図書館資料及び情報を検索利用する際に不可欠なこと、次いで図書館資料の管理・保存の機能があることを理解させる。また、現在カード目録からコンピュータ目録へ移行中であり、総合目録の作成・利用が可能となって、図書館サービス全般へ関連の生じていることにも言及する。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>「資料組織法 第3版」 志保田務 高鷲忠美 共著 第一法規出版 「日本目録規則 1987年版 改訂版」 「日本十進分類法 第9版」 「基本件名標目表 第3版」 「国立国会図書館件名標目表 第5版」 「JAPAN/MARC マニュアル 第3版」 「目録システム利用マニュアル データベース編 改訂版」 「目録情報の基準 第2版」</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 図書館目録の意義・機能 目録規則：1987年版を中心に 記入の作成：記述、標目（アクセスポイント）、標目指示・・・カード形式、データシート形式 典拠ファイル：著者名典拠ファイル</p> <p>2. 書誌階層の概念</p> <p>3. 分類の意義・機能 分類表：日本十進分類法を中心に 分類作業：分類表の理解、分類記号付与 主題検索：件名法・・・基本件名表（第3版）、国立国会図書館件名表目表（第5版） その他：書誌分類、シソーラスなど 目録の活用：作成に留まらず利用促進・・・利用案内、パスファインダーなど 図書館目録の現状：書誌ユーティリティ、標準化など</p>	
【評価方法】	

【授業科目名】 資料組織演習

【担当者】 椎葉 伸子

【開講期】 / 年前期・後期

【授業目標】

一般的な図書の目録作成（リジスタケーション）ができることを目指す。また、外部の書誌データを利用する際に、書誌事項の評価が出来るようにする。図書館内で利用者に目録利用についてサービス出来るようにする。

【テキスト・参考書】

「資料組織法別冊 演習問題集 緑版」 第一法規出版
「日本目録規則 1987年版 改訂版」
「日本十進分類法 第9版」
「基本件名標目表 第3版」
「国立国会図書館件名標目表 第5版」
「日本著者記号表 改訂版」

授 業 計 画

記入作成：カード形式により基本的書誌データを学ぶ

図書記号：日本著者記号表等により請求記号を与える

分類作業：日本十進分類表の要目表、一般補助表を用いて分類記号を与える

件名作業：基本件名標目表、NDL件名標目表により件名標目を与える

以上の演習は、最初演習問題集を使用し、ついで図書そのものを使用して実施する

コンピュータ目録：図書に関して書誌データを作成し、データシートに記入、コンピュータに入力する。J-BISCからダウンロードしたデータと共にデータベースを作成し、出力や検索の演習をする。

目録利用対策：目録利用案内、パスファインダーなど。

【評価方法】

【授業科目名】 児童サービス論

【担当者】 東喜望

【開講期】 1 年 前期 (集中)

【授業目標】 人生の人格形成期において、児童期はその基盤を成す最も重要な時期である。この時期に、児童が人間として何を欲し、何を求めているか、その正当な知的欲求をまず把握し、これに正しく応えるためには、どんな書籍を、どのようなサービスによって読ませていくかを考察する。

【テキスト・参考書】 適宜指示する。

授 業 計 画

講義は、おおよそ以下の項目によって進める。

1. ことは"と思考
2. 人間の言語活動
3. 「読む」ことの意義
4. 少年少女期の特性と読書傾向
5. 児童図書としての良書とは何か。
6. 読書指導と選書の方法
7. 児童図書とサービス

【評価方法】 筆記試験

【授業科目名】 図書及び図書館史

【担当者】 西村 汎子

【開講期】 1 年 後期

【授業目標】

図書および情報手段の発達・普及と利用者の要望の高まりは、図書館を国民のための開かれた情報センターとする条件をつくりつつある。図書館の歴史の中から人々の努力の跡を辿ると共に、図書館の未来の活動や運営に向けての課題を考えていきたい。

【テキスト・参考書】

参考書：岩橋敏生他共著『新図書館ハンドブック』（雄山閣）

石井敦編『図書および図書館史』（講座：図書館の理論と実際10 雄山閣）

授 業 計 画

図書および図書館の歴史は、社会のごく一部の人が享受するに過ぎなかった図書および各種の情報が、あらゆる人々のもとに生涯を通じて迅速に提供されるものへと変化発達しつつある歴史である。情報は誰でも入手できると同時に、その内容も教育・研究の必要や地域の人々の要望に十分に応えるものでなければならない。

第1章 日本—近代以前の図書と図書館の歴史

- (1) 紙の移入と書写の始まり
- (2) 古代における印刷・文庫・分類項目の発生
- (3) 中世における出版事業・学校文庫・書籍目録の成立
- (4) 近世における文庫の発達・庶民の読書要求と出版物取り締まり

第2章 日本—近代以後の情報化の発達と図書館の歴史

- (1) 近代図書館の発生—公立図書館の二つの道
- (2) 日本資本主義の発達と図書館—公立図書館の定着
- (3) 大正デモクラシーと図書館—臨時教育会議の答申・労働者農民の図書館
- (4) 軍国主義体制下の図書館—思想言論の抑圧・戦争の被害
- (5) 敗戦後の図書館—図書館の自由に関する宣言の採択
- (6) 民衆のための図書館—日野図書館のスタート・自治体行政の前進
- (7) 情報化の発達と図書館の新たな課題

【評価方法】

筆記試験またはレポート

【授業科目名】 情報機器論	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 汎用情報機器としてパーソナルコンピュータを取り上げ、ワープロとしての利用をはじめ、ネットワーク環境でのコミュニケーション能力養成のための電子メール、ネットワークニュースの利用などの実習を行い、ネットワーク時代に対応できる情報メディアリテラシーの基本を修得することをめざす。	
【テキスト・参考書】 特に指定しない。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な情報メディアリテラシーの修得 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組み ・キーボードリテラシーの養成 2. ワードプロセッサとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・編集機能の活用 ・保存機能の活用 ・思考ツールとしての活用 ・プレゼンテーションツールとしての活用 3. ネットワーク環境でのコミュニケーションツールとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・電子メール、ネットワークニュースの仕組み ・電子メール、ネットワークニュースによる情報交換 ・World Wide Webによる情報の探索と提供の基本 	
【評価方法】 学期中と学期末に課題をネットワーク経由で提出させ、それを評価する。	

教養教育科目（2年）

【授業科目名】 総合科目 人間

【担当者】 吉川・浅井・村田・富永

【開講期】 2年前期 ・ 2年後期

【授業目標】

「環境を考える」という統一テーマで、4名の教員がそれぞれの専門的立場から、地球の問題として、健康の問題として、教育の問題として、経済学的な視点からの問題としての環境をとりあげる。

【テキスト・参考書】

テキストは使用しない。参考書は授業の中で各教員によって指示される。

授 業 計 画

I 宇宙船地球号の環境を考える

1. 主体と環境—ゾウの環境ネズミの環境
エコロジーの意味するところ
2. 大気環境
二酸化炭素・オゾン層
3. 水の環境
ミネラルウォーターと天然水 酸性雨・富栄養化・水汚染
4. 緑の環境
樹木のライフサイクル 森林と砂漠化

5. 生物—環境モニタリング
生物の多様性と種の保全

(6.) 地球環境と人類

持続可能な消費は可能か Reduce・Recycle・Reuse

II 教育環境を考える（子どもをとりまく環境）

1. 世界の子どもの生活環境
ユニセフ「世界子供白書」から（困難な条件の中で生活する子どもたち）
2. 子育て環境としての家族の現在
家族の養育機能について（子育て不安 子供の虐待 子育てと家族）
3. 学びの環境としての学校の現在
学校とは（いま学びの楽しさ 出合いの楽しさは？）
4. 遊び環境の変容
アナーキースペースとしての遊び環境
遊びと子どもの人格形成
5. メディア環境と子どものセクシュアリティ
メディアの有害性とはなにを意味するのか
メディアが子どものセクシュアリティに与える影響

III 環境と健康

1. 温熱環境への生体反応（・ホメオスタシス・調節と適応、順化）
2. 暑さの健康科学（・暑さに対する体温調節・熱中症・暑い地方の人々）
3. 寒さの健康科学（・寒さに対する体温調節・凍死・寒い地方の人々）
4. 暑さ寒さと日本人（・耐暑性・耐寒性・男女差）
5. 至適温度への働きかけ（・暑さ、寒さへの対応・健康と冷暖房・）

IV 戦後50年、日本経済の発展と家族・家庭生活の変化

1. 戦後における日本経済の発展過程
2. 戦後50年における家族・家庭生活の変化
3. 現代勤労者家族の経済生活をめぐる諸問題

【評価方法】

試験の時期と評価方法は担当教員によって異なり、授業時間に担当者によって指示される。

【授業科目名】 総合英語Ⅱ-1、2	【担当者】 中島好伸
【開講期】 2年前期 後期	
<p>【授業目標】 音声、文字、意味を一つのものとしてとらえる訓練をすることによって、実用的な運用能力を高めると同時に、国際的な教養を身につける。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 未定（開講時に指示）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>テキストに即して授業を進める。1時間につき1レッスンを目標に進むので、受講生は必ず予習をしておくこと。授業の中で「分かりません」は許されない。未知な単語は前もって辞書に当たっておくこと。授業ではbocabularyを増やしていきながら読む力を付けていくと同時に、テープレコーダーを多用して音声による理解能力も高めていく。語学の修得は授業時間だけで達成されるものではなく、常日頃の努力が必要である。従って、努力の成果を確かめるために、毎時間簡単な試験を行う。成績は出席とこの小テストにより評価する。</p>	
<p>【評価方法】 毎時間行う小テストに出席を加味して評価する。</p>	

【授業科目名】 総合英語Ⅱ-1、2

【担当者】 須藤彩子

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】

1年次に培ってきた英語の力を聴解と読解の訓練を通じてさらに高めることを目標とする。

【テキスト・参考書】

開講時に指示する。読解中心のメイン・テキストと聴解中心のサブ・テキストの二冊の予定。

授 業 計 画

◇ 毎回の授業はリスニングでスタートします。リスニングの解答用紙は集めます。そのあとは、メイン・テキストの読解です。全体を音読してから、内容を考えていきましょう。内容理解に必要な語法をおさませましょう。

◇ 前期の小テストは、3～5回程度予定しています（聴解問題も考えています）。前期と後期の最終授業日には必ず学期末最終小テストを実施します。最終小テストの配点はかなり高くなります。なお、遅刻・欠席の場合も追試験はいいさいないので、必ず当日にうけること。

◇ 授業2回につき1回、メイン・テキストに関する宿題の提出日があります。原則として、提出日前の提出はしないこと。また、授業内で解答が出てしまうので、期限内に遅れたものは、どんな理由があってもうけとれないので注意すること。

◇ 宿題の提出日ではない日に、音読の予習課題を10人前後に発表してもらいます。前期・後期とも、ひとり2回は発表すること。当たっているのに発表できない、ということが決してないように。（万が一あった場合は減点します）

◇ 授業時間内にできるだけ力をつけることを目標とした授業なので、積極的に参加すること。すなわち、積極的に発言し、問いに答え、意見を述べ、課題にとりくむこと。特に、音読の練習は大きな声で！音読は、やればそれに正比例して力がつく、たいへんお得な学習法です。なお、ポケットベル・携帯電話などのスイッチは、必ず切っておくこと。

【評価方法】

小テスト・宿題提出・出席・授業参加度を総合的に評価する。出席と宿題に関しては、全出席・全提出が前提とされる。遅刻・欠席の場合は、どんな理由があっても総合点が回数に応じて必ず減点される。それでも、欠席の理由は考慮されるので、無断欠席は決してしないように。（無断欠席の場合と、回数が多い場合は特に大きく減点される）

【授業科目名】 総合英語Ⅱ-1、2	【担当者】 森田真澄
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語能力(聞く、話す、読む、書く)を、総合的に向上させる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>(予定) T.V. News from the U.S.A. (5) ---テレビニュースで学ぶ英語 (5)--- 金星堂 (1,597円)</p>	
授 業 計 画	
<p>アメリカのテレビ・ニュースのビデオをテキストと共に併用し、視覚から入る情報の助けを得ながら、英語のリスニング能力、及び読解力を伸ばす。また、英語での質問に英語で口答する事により、話す力を向上させる。更に、習得した表現を使用しての英作文も試みる。</p> <p>毎週1ユニットずつ進む。</p> <p>原則として、毎週授業中に小テストを行なう。</p>	
<p>【評価方法】 毎週行なう小テスト---80%</p> <p>授業への参加度----20% 以上の2点で評価。</p>	

【授業科目名】 総合英語Ⅱ-1、2

【担当者】 藤田久美子

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】

このクラスでは、アメリカの人気番組のビデオを見ることを通して、内容をきちんと把握すること、また、その中で使われている重要表現を、書き取りや会話練習を通してしっかり身に付けることを目標にする。

【テキスト・参考書】 (1) Amazing Stories Vance E. Johnson 編
KINSEIDO
(2) Vivid Listening Tanaka Akio 他編
SEIBIDO

授 業 計 画

この授業では、S. スピルバーグ制作の“Amazing Stories”の中から“Mummy Daddy”、“Dorothy and Ben”、そして“The Main Attraction”の3本の作品を見ていく。クラスでは、ビデオを1シーンずつ見ながら、内容確認のためのexerciseに答えていく。次に、テキストに載っているscriptを見ていきながら、（またはそのテープを聞きながら）こちらの質問に答えたり、場面ごとのpartial dictationをやる。さらに、その場面に出てくる重要表現を使ってのセンテンスの書き取り、及び友達との会話練習を行う。

授業の準備として、次に見るシーンの要約の文章とscriptをよく読み、分からない所はよく調べて来ること。

補助テキストとしてVivid Listeningを用いる。テープによるdialogueを聞いて正しいイラストを選ぶ問題、及びlistening dictationを行う。

【評価方法】

出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業態度（積極性など）を、だいたい同じ比重で見て評価の基準とする。

【授業科目名】 選択語学Ⅱ-1、2 英語（オーラル） 【担当者】 森田真澄

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】

英語のリスニング能力及び話す能力を中心に向上させる。

【テキスト・参考書】

(予定) Only in America (Activity book)

Oxford University Press (1,500円)

授 業 計 画

アメリカの若者達が登場するビデオをテキストと共に併用し、彼等のライフスタイルを含め、アメリカ生活を視覚的にもインジョイしながら、英語能力を伸ばす。

2週間で1ユニット進む。

原則として、毎週授業中に小テストを行なう。

【評価方法】 毎週行なう小テスト---80%

授業への参加度----20%

以上の2点で評価。

【授業科目名】 選択語学Ⅱ-1、2英語（オーラル）	【担当者】 清野茂子
【開講期】 2年前期 ・ 2年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>完璧な構文と発音で会話を行うのではなく、自分なりの方法で、積極的にコミュニケーションを成立させることと、それに伴う応用力を養うことを目標とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>"Minitalks " Seibido; ¥1,648</p>	
授 業 計 画	
<p>毎時間、各 topics のテーマを土台にして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会話の内容の理解、およびその対応 ・ 相手の話に耳を傾けて、どの位、納得できているか ・ 実際に、自分をあてはめてみる会話 <p>以上の事を、年間を通して training するので、休まずに取り組んで頂きたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席日数、平常の小テスト、および期末テストを総合して評価する。</p>	

【授業科目名】選択語学Ⅱ－1、2 英語(リーディング)【担当者】長尾主悦

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】

4年制大学への編入を希望する者を対象として、読解を中心に試験の問題に対応できるだけの能力を身につけることを目標とする。

【テキスト・参考書】

各人のレベルを確認した後、プリントを配布してテキストに代える。参考書等については開講時に指示する。なお、必ず英和あるいは英英辞典を持参のこと。

授 業 計 画

4年制大学への編入試験には、専門科目や小論文、面接などのほかに、英語が課せられることが多い。そのため編入試験に際して、「論文や専門科目は良くできたが、英語が障壁となった」という事態を免れるために、最低限必要な知識を獲得し、問題に対応できるようにせねばならない。試験の具体的な問題内容としては、英文和訳が中心であるが、大学によっては、文法、整序作文、発音・アクセント、慣用表現等多岐にわたり、大学入試とほぼ変わらない範囲で出題されているものもある。つまり、編入試験をのりきるためには、もう一度大学の入学試験を受けるのと同等の準備が要求されることになる。

各人は、本学を受験した当時の記憶を甦らせ、ブラッシュ・アップに励むことになるが、授業では初歩的な文法を理解した上で、長い論理的な文章を読み解く訓練をする。英語による入学試験を経験したことのない者でも、意欲があれば、努力如何で苦手意識克服し、複雑な構造をもつ長い文章を読みこなせるようになる。積極的に授業に参加し、質問し、疑問点を解消して、「次を読もう」という意欲をもてるようになっていただきたい。

実際の試験まで日が限られている(11月下旬から順次実施される)ため、自主学習の負担は大きくなるが、学習すべき教材とその方法については各人のレベルに応じて異なるので、一人ずつ個別にアドヴァイスする予定である。

より具体的なことについては開講時に述べる。

【評価方法】

出席等、平常点によって評価する。

【授業科目名】 選択語学Ⅱ - 1、2 独語

【担当者】 川原美江

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】

絵本や童話などの読物を楽しみながら、ドイツ児童文学の世界を考察する。

【テキスト・参考書】

ハインリヒ・ホフマン作『ムシャムシャのカーター』他。

授 業 計 画

まず最初にヤコブ・ライプストを読みながら、これに学んだ文法知識を復習する。次に『ムシャムシャのカーター』に入る。初めに文法を正しく理解した後、絵本を借りながら生きたドイツ語訳を試みる。

【評価方法】

出席日数、レポートを総合的に判定する。

【授業科目名】 選択語学Ⅱ-1、2 仏語	【担当者】 村山知恵
【開講期】 2 年 前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1年間学んだフランス語で、毎年「星の王子様」を読んでいます。フランス語で、一冊読み終えることができればいいと思います。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>” L e p e t i t P r i n c e ”</p>	
授 業 計 画	
<p>「星の王子様」は、日本でも大変有名になった童話です。翻訳もたくさん出ているかと思いますが、原文を辞書を引ながら一緒に読みます。フランス語は決して難しくはありませんが、辞書を引くだけでは分からない、歴史的、文化的難しさもあり、その点を、資料やビデオで説明しながら読み進んで行きたいと思います。卒業すれば触れることのないフランス語の、良い記念に一年かけて読み上げましょう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートによる評価をします。</p>	

專門教育科目（2年）

【授業科目名】 感覚と知覚	【担当者】 金子 尚弘
---------------	-------------

【開講期】 2年前期

【授業目標】 感覚器官の働きに関する知識を深め、視覚刺激や聴覚刺激がどのように取り込まれるのか、取り込まれた刺激はどのように知覚されるのかといった事柄を理解し説明できるようになることを目標とする。具体的には3D図版や映画、遊園地の疑似宇宙旅行の仕組みの説明や、「なぜ、地平線近くの月が大きく見えることがあるのか」といった疑問に答えられるようにする。

【テキスト・参考書】
授業の進行に伴い、適宜紹介する。

授 業 計 画

- 1、知覚とは何か？ スライドとビデオ「感覚と知覚」
知覚のさまざまな例を、スライドとビデオで学ぶ。
 - 2、幻覚、幻視、幻聴、錯覚、錯視。ビデオ「INFINETE ESCHER」
私たちは、実際にあるものをその通り知覚しているわけではない。
 - 3、感覚器官と感覚刺激の話ー視覚。ビデオ「感覚器の構造と働き」
我々にとって最も重要な感覚である視覚について理解する。
 - 4、色の知覚、ビデオ「Colour」
色の光学的性質や弁別や錯覚など、色の知覚について学ぶ。
 - 5、カラーコーディネーション
色の使い方、組み合わせ方の心理学を学ぶ。
 - 6、聴覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚、体制感覚、時間感覚
視覚以外の感覚器と、音、味、匂いの性質やその知覚について学ぶ。
 - 7、錯視の種類とそのメカニズム。ビデオ「視覚的錯覚と知覚過程」
錯視の現象だけを取り上げて、その原因を分類し知覚について考える。
 - 8、知覚理論、ギブソンの考え方とニュールックの考え方。ビデオ「万全の着陸と知覚」
さて、知覚とはどのようなことなのかを理論的にまとめてみる。
 - 9、知覚情報処理。ビデオ「キューとスキーマ」
我々は、どのようにして外界を知覚しているのだろうか。
 - 10、知覚メカニズムのシュミレーション。ビデオ「知覚プログラム：ポパイ」
私たちと同じような知覚メカニズムを、コンピュータがまねできるだろうか。
 - 11、音の知覚、音源定位と聴空間の知覚
音の知覚や、音源定位を実際に体験する。
 - 12、味と匂いの知覚、時間の知覚
味、匂い、時間の知覚を実際に体験する。
 - 13、精神物理学的測定法、官能検査、域値、感覚尺度
知覚の測定方法や、実際生活での応用分野について学ぶ。
- その他、ビデオ「ビジュアルイリュージョン」「開眼手術ー初めて見る世界ー」

【評価方法】
学期末試験期間中に実施するペーパーテストと適宜行う小テストによって評価する。

【授業科目名】 記憶と思考	【担当者】 荻野七重
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】 思考に関する多くの実験的研究によって示された事実や理論を示す。特にことば、概念の獲得と発達的变化の過程を見ていく。</p> <p>記憶については、記録する材料、時間的要因、個人の持っている知識等がどのように記憶の3つの過程、記名、保持、想起（忘却）において作用するかを見ていく。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキストとして下記のものを用いる。なおこのテキストは1年後期の開校の「条件づけ」に用いたものであり、この授業ではその後半部分を使用する。</p> <p>「学習心理学」行動と認知 山内・春木編著（サイエンス社）</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 問題解決と推理</p> <p>問題解決過程にたいする3つの異なるアプローチ 認知の発達と推理（J. P. ピアジェ） 演繹的推理と機能的推理 創造性（集中的思考と分散的思考）</p>	<p>テキスト 5章</p>
<p>2. 概念過程と言語の獲得</p> <p>概念の構造と概念学習 言語の獲得と思考</p>	<p>テキスト 6章</p>
<p>3. 記憶と忘却</p> <p>記憶とは何か 記憶の研究法（記録材料と測定法） 短期記憶と長期記憶 忘却 記憶術</p>	<p>テキスト 7章</p>
<p>4. 有意味材料の記憶</p> <p>エピソード記憶と意味記憶 記憶の変容</p>	<p>テキスト 8章</p>
<p>【評価方法】</p> <p>定期試験時にペーパーテストを行う。</p>	

【授業科目名】 動機づけと感情

【担当者】 小林能成

【開講期】 2 年 前期

【授業目標】

感情は、人間にとって最も重要な関心事の一つといえる。また我々は、動機によって外部からの直接的な力をまたず行動を始動させる事が出来る。これらは、人や動物が機械と違う大きな点である。授業目標は、これまで心理学で取り扱われてきた、感情と動機づけに関する基礎概念を学習・理解することである。さらに、それに関連し、日常のストレスや適応、行動の異常などの問題も取り上げていきたい。

【テキスト・参考書】

必要な資料等は授業にて配布する。 また、参考図書は随時紹介。

授 業 計 画

- | | |
|---|---|
| I 心理学における感情・動機づけ
研究の展開 | VI 感情の概念と研究の歴史
・感情の概念
・感情の研究法
・感情とその表出 |
| II 動機づけの概念
・動機づけの諸概念
・動機の分類 | VII 感情の分類 |
| III 生物的動機
・ホメオスタシス理論
・誘因論
・摂食行動・性行動
・動機づけの生理学的基礎
・動機づけと脳 | VIII 感情の理論（1）
・感情の生理学的基礎
・生理学的な感情理論 |
| IV 内発的動機 | IX 感情の理論（2）
・認知的理論
・進化論的理論 |
| V 社会的動機 | X 欲求不満・ストレス
・欲求不満と適応
・ストレスと健康
・リラクセーションの科学 |

【評価方法】

試験を行う予定

【授業科目名】 英書講読	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理学の英文書の読解をとおして、原書に親しむことが目的です。 あわせて、基本的な心理学用語の英単語を理解します。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：プリントを授業の際用意します</p>	
<p>投 業 計 画</p>	
<p>Personality</p> <p>Type theories of personality</p> <p>Traits and their measurement</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. The rational method 2. The empirical or criterion method 3. The factor-analytic method <p>Sensation seeking</p> <p>Happiness</p> <p>Shyness</p> <p>Trait theories of personality</p> <p>Eysenck's personality theory</p> <p>Evaluation of the trait/type approach</p> <p>使用するのは、Australiaの高校生向けのテキストのコピーです。 そのほか、最近の心理学関係ジャーナルの一部をコピーして使います。 必ず予習をしてきて下さい。また英和辞書は必ず持参して下さい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点</p>	

【授業科目名】 情報処理Ⅱ	【担当者】 倉澤寿之
【開講期】 2年前期	
【授業目標】 表計算ソフトウェアの実習を通して、数値データの処理とそのグラフ化、ならびにデータベースの作成と検索方法を学ぶ。数値データの処理は心理学の研究に欠かせないばかりか、生活の様々な側面でも必要とされている。また、電子情報化されたデータベースは今後の私たちの生活に重要な役割を持つと考えられる。	
【テキスト・参考書】 特に指定しない。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 表計算入門 <ul style="list-style-type: none"> ・基本用語と基本的な操作 2. 数値データ処理 <ul style="list-style-type: none"> ・数値データ処理の基本 ・数値データ処理の応用（t検定を題材に） ・グラフ表示 ・関数の活用（相関係数の算出を題材に） 3. データベースとしての利用 <ul style="list-style-type: none"> ・データベース作成（住所録） ・ソーティング（並べ換え）と抽出 4. ネットワークを利用した情報の収集と提供 	
【評価方法】 学期中と学期末に課題をネットワーク経由で提出させ、それを評価する。	

【授業科目名】 情報処理Ⅱ	【担当者】 丸山 有紀子
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>表計算ソフトを使った実習により、データを表に整理し、処理、グラフ化することで、数値データをわかりやすく表現する。データベース機能を使い、収集したデータを有効に活用することを学ぶ。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>インターネット時代の情報処理テキスト（樹村房）</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 表計算ソフトの使い方 用語の解説、基本的な操作、データ入力の仕方。 2. データ入力 数値データの入力、計算（算術関数など）、罫線、セルの形式。 ワークシートの保存、呼び出し。 印刷。 3. グラフ作成 グラフの表示、グラフの種類、グラフの編集。 グラフの印刷。 4. データ処理 統計関数。 t検定、相関係数の計算。 5. データベース作成 データベースの説明。 データの入力。 データの並べ換え、データの抽出。 6. ワードプロ文書への貼り付け 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、および授業中におこなう課題。</p>	

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】	専任教員他
【開講期】	2年前期・2年後期		
【授業目標】	心理学科での学習のまとめとして、グループ別の課題に取り組み、一つの研究を完成することを目指す。成果は1月の「卒業研究発表会」で発表する。		
【テキスト・参考書】	必要に応じて指導教員が指示する。		
授 業 計 画			
<p>指導教員が提示したテーマのうちから一つを選び、原則としてグループごとに研究を進めていく。前期の心理学研究演習では、先行研究に関する文献の講読や予備調査、予備実験などを行い、後期の卒業研究で本格的なデータ収集作業、統計処理などを行うのが一般的である。</p> <p>研究成果は1月の「卒業研究発表会」で心理学科の内外に向けて発表される。また、研究報告書(レポート)は個人ごとに作成し、後期末に提出する。</p> <p>研究テーマの決定方法については、心理学科から指示がある。</p> <p>次のページ以降に、教員の提示したテーマを掲げる。</p>			
【評価方法】	平常点および期末のレポートなど、指導教員の指示する方法により評価する。		

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】	荻野七重・長谷川智子
【開講期】	2年前期・2年後期		
授 業 計 画			

テーマ1 乳幼児期の発達に関する研究

幼児期の子どもの発達は、心身ともにめざましいものです。

このグループでは、保育園や幼稚園に在園する幼児を対象に、調査または実験を実施することによって、幼児期の発達について考えていきたいと思えます。テーマとしては食行動や母子関係などを取りあげる予定ですが、他に興味のあるテーマがあれば、自由に考えていただきます。研究としてだけでなく、子ども自身に興味がある方を望みます。

テーマ2 日常記憶研究1（知識について）

最近のテレビは大変なクイズばやりです。そこでは、解答者がいろいろな知識について試されています。正しい答えがでるでないはなにによって決まるのでしょうか。単に知識があるかないかというような単純なものではないでしょう。推論のうまい人、動物的勘（?!）の優れた人がいます。答えられる人とこたえられない人、答えられるときと、答えられないときとはなにがどう違うのでしょうか。

G. コーエン著「日常記憶の心理学」の「6章 世界についての知識、メタ知識、および熟達者の知識」は、このような興味について、これまでの研究の成果を示してくれます。この章の文献研究を出発点として、知識についての実験的研究へと進めていきたいと思えます。

テーマ3 日常記憶研究2（会話、散文、物語の記憶）

私たちの記憶に収まっている情報は直接経験によって得たものよりも、人が話すのを聞いたり、活字を読んだりすることによって得たものが多いことは誰もが認めるところでしょう。しかし私たちはどれくらい正確にそれを記憶にとどめ、またどれくらい正確にそれを再生できるのでしょうか。この記憶の過程で、何が起こり、記憶がどのように歪められるのでしょうか。

G. コーエンの「日常記憶の心理学」の「7章 会話、散文、物語の記憶」にはこのような記憶についての理論や実験的研究が紹介されています。この章の文献研究を出発点として、会話、散文、物語の記憶についての実験的研究へと進めて行きたいと思えます。

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】	金子尚弘・寺田雅英
【開講期】	2年前期・2年後期		
授 業 計 画			

テーマ4 応用行動分析 1

ヒトの行動は、弁別刺激－自発的反應－強化の三項が常に同じ時に生じることによって条件づけられ維持されています。私達の行動は、人それぞれで個性的であり、その違いが人の世を変化に富んだ楽しいものに行っているのですが、実は一寸した環境と強化の違いによって生じた結果なのです。日常生活での一寸した癖や、他人に対する行動を分析、あるいは実験をして、行動がどのように維持されているのか、それはどのような操作で変える（修正する）ことができるのかを考えてみます。

テーマ5 応用行動分析 2

自閉症児とは、奇異な行動を繰り返し行なったり、言語発達が遅れ、他人に対する反応が欠如している子供の事です。コロロE Tセンターには、自閉症児が治療教育のために週に一度通っています。応用行動分析2では、この施設に通っている子供の中で、重度の子供を対象に、文字カードや絵カードなどを使って言葉を実際に教えて行きます。前期は、行動分析学な治療方法を勉強すると共に、子供を観察し一緒に勉強することで、子供を理解します。後期は、前期の経験をもとに、その子供に合わせて学習計画を立て、子供が半年間でどのように成長していくのか、卒業研究としてまとめます。3～5名で一人の子供を担当することになると思います。

テーマ6 応用行動分析 3

応用行動分析2では、重度な子供を対象にしましたが、応用行動分析3では、コロロE Tセンターに通っている子供の中でも、言葉で基本的なコミュニケーションを取ることができる軽度な子供を対象に、社会的な行動を実際に教えて行きます。前期は、行動分析学な治療方法を勉強すると共に、子供を観察し一緒に勉強することで、その子供を理解します。後期は、前期の経験をもとに、その子供に合わせて学習計画を立て、子供が半年間でどのように成長していくのか、卒業研究としてまとめます。3～5名で一人の子供を担当することになると思います。

【授業科目名】

心理学研究演習・卒業研究

【担当者】倉澤寿之・原奈津子

【開講期】

2年前期・2年後期

授 業 計 画

テーマ10 携帯型コミュニケーション機器利用についての調査

10代後半から20代の年齢層で、ポケットベルや携帯電話といった携帯型のコミュニケーション機器が普及しています。これらを使うこと、あるいは持っていることは彼らにとってどのような意味があるのでしょうか。こういった機器をどのように使っているのかといった実態調査、これらの機器に対して持つイメージの調査などを通して、現代のコミュニケーションを考えてみたいと思います。

テーマ11 発言の信憑性の判断に関する研究

うそをついても見破られずにすむことがあります。逆に、うそではなく本当のことをいっているのに、信じてもらえないこともあります。人がある言動を信用したり疑ったりするのはなぜなのでしょう。この分野の研究は、非言語的な手がかりに着目したものが多くなされてきましたが、今回は主として発言の言語的内容に関する調査や実験を行いたいと思います。

テーマ12 説得におけるムードの影響について

怒っているときや楽しい気分にいるとき、私たちの行動や思考がその気分によって影響されることがしばしばあります。何かいいことがあったときに、いつもなら断るような頼まれ事をOKしてしまうのはその一例です。

このような気分の影響について、説得場面をもとに実験を通して検討してみようと思います。

【授業科目名】	心理学研究演習・卒業研究	【担当者】	神田信彦・菅沼 真樹
【開講期】	2年前期・2年後期		

授 業 計 画

テーマ7 「心の健全さ」を支える要因について

青少年が非行などの不適応行動にはしる原因については家庭内の要因、社会的要因などさまざまに論議されています。しかし、同じような負因を抱えていても不適応行動にいたらないこともしばしばです。それは偶然によることなのでしょうか。それとも何か共通する要因が働いているのでしょうか。これらについて調査研究を行う予定です。

テーマ8 認知スタイルと適応の関係の検討

自分を取りまく環境の理解の仕方やそれへの関わり方について考えるとき「衝動型」－「熟慮型」、「場依存」－「場独立」などの分け方があります。このほか「柔軟さ」－「硬さ」や「悲観的」－「楽観的」なども認知スタイルとして捉えることが可能でしょう。ここでは主に人の認知スタイルと日常生活への適応はどのような関係にあるかを検討します。

テーマ9 青年期以降における人格特性と被養育経験

人生の初期においてどのような養育を受けていたのかということは、後の人格形成に大きな影響を及ぼすと言われていています。では青年期で人格特性を持つ者は、異なる被養育経験を報告するのでしょうか。ここでは、青年期における人格特性と被養育経験との関連を中心に取り上げます。また、成人期老年期にも対象を広げて、生涯を通して出会うであろう重要な他者（友人、恋人、自分が親になったときの子どもなど）との関係の結び方の差異を、被養育経験との関連で検討する予定です。

【授業科目名】

心理学研究演習・卒業研究

【担当者】多喜乃亮介・正木宏明

【開講期】

2年前期・2年後期

授 業 計 画

テーマ13 人の脳機能測定の現在

脳の働きを調べるための動物実験は長い歴史がありますが、人の脳の働きも技術の進歩に伴って非侵襲的（体を傷つけず）に測定できる範囲が広がってきています。身近な雑誌にも脳の話題には事欠かないようです。さて、実際に測定してみるとどのような情報が得られるのでしょうか。どのような脳機能について測定可能なのか、どのような実験的工夫が必要なのかなど、実際の測定を通して検討してみたいと思います。

測定は国分寺にある郵政省通信総合研究所の脳磁界測定装置(MEG)を中心に行います。少なくとも半日は時間を融通する必要があります。最新技術による測定に興味のある方、アルバイトで時間的に首が回らなくなっていない方が都合がよいと思います。

テーマ14 リズムの研究

たとえば工事現場のくい打ちの音のように一定間隔の音が聞こえていると、気がつくと自分でもリズムをとっているときがあります。少々、複雑なリズムは聞いているだけで気分がよくなることもあります。聞いていて不快なリズムもあると思います。ノリが良い・悪い、リズム感が良い・悪い、といった表現は音楽だけにとどまらず生活の中でも使われます。職人芸の中には非常にテンポの良い操作を見つけることもできます。機械の故障もリズムの乱れによって気がついたりします。私たちは知らず知らずのうちにリズムを利用して生活しているようです。頭の中にできる時計と外側の時計がぶつかりあっているのでしょうか。いろいろなリズムについて調査・実験をしてみましょう。

テーマ15 脳の動作準備に関する研究

テニスボールを3m投げることは簡単です。でも、そこに的があり、当てると商品がもらえる場合には、同じボール投げでもちょっと身構えてから投げると思います。自分にとって重要な動作ほど、動作準備を慎重に行う必要がありますが、言い換えると、脳が準備を慎重に行っているのです。ここでは、動作内容によって異なる脳の準備状態を、脳波を測定することで調べます。調べる動作は、ピアノ弾き、書字、発声など、創意工夫でいろいろ広がります。

【授業科目名】 心理学研究演習・卒業研究

【担当者】 林潔・高橋浩子

【開講期】 2年前期・2年後期

授 業 計 画

テーマ16 社会的サポートについて

個人をささえる周囲の条件が、社会的サポートです。

サポートの機関には、相談所もそうですが、さまざまなグループ（例えば、アルコール中毒の人の会、など）があげられます。

ここでは、次ぎのことについて調べてみたいと思います。

- (1) 現在どのようなサポートの機会があるのか。このリスト作成だけでも相談活動や日常生活に役立つ情報になるでしょう。
- (2) 人々がどのような支援システムを求めているか。

テーマ17 カウンセリングの機能について

このテーマをどう卒研の方法に乗せたらいいのか、検討中です。

テーマ18 異文化間コミュニケーションの研究

最近では、異文化間コミュニケーションという言葉聞く機会が多くなってきました。では、異文化とはなんでしょうか。異文化の意味や、異文化接触によって生じる現象や問題について考えてみたいと思います。同時に、実際に調査を行って検討して行きます。

【授業科目名】心理学研究法 A	【担当者】神田信彦
【開講期】 2年前期 ・ 2年後期	
【授業目標】 心理療法の基本的な概念を知り、自己理解を深めるための視点を身につける。	
【テキスト・参考書】 必要に応じ資料を配布する。	
授 業 計 画	
<p>講義と実習を織り混ぜながら、自己について体験し、考え、これまで気づかなかった自己に触れることによって、自分や自分を取りまく世界について多様な視点で捉える可能性を探る。 授業は概ね以下のように進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. さまざまな自己の捉え方 3. 心理療法の基本概念と理論 4. 自己理解のための実習(1) - 構成的エンカウンターグループの視点から - 5. 自己理解のための実習(2) - コラージュ療法の視点から - 6. 自己理解のための実習(3) - ゲシュタルト療法の視点から - 7. まとめ 	
【評価方法】 平常点とレポートによる。 出席重視	

【授業科目名】 心理学研究法 A

【担当者】 三浦亜子

【開講期】 2 年 前・後期

【授業目標】

心理療法の一技法である箱庭療法を実際に体験することを通して、自己理解を深める。

【テキスト・参考書】

河合隼雄編 箱庭療法入門 誠信書房（特別に買わなくてもよい）

授 業 計 画

1 オリエンテーション

－グループ分け、箱庭作りに際しての留意点、レポートについて他－

2 以降、箱庭制作実習（各自で箱庭制作に取り組む）

最後の3回

1) 箱庭療法の理論

－ビデオ教材を使って－

2) 箱庭療法の実際

－事例研究より－

3) まとめ

－全体での話し合い、体験のシェアリング－

【評価方法】

レポート

【授業科目名】 心理学研究法 A

【担当者】 若山隆良

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】

HTP法などの描画法を実際に体験し、臨床心理学的アセスメントおよび治療としての描画法についての理解を深める

【テキスト・参考書】

必要に応じて、印刷物を配布する

授 業 計 画

第1週 描画法についてのオリエンテーション
第2~3週 バウムテスト
第4~5週 風景構成法
第7週 MSSM法
第週9~12週 HTP法

【評価方法】

授業への参加の度合いと期末のレポートによって評価を行う

【授業科目名】 心理学研究法 A (カウンセリングの実際)

【担当者】 川島 真

【開講期】 2年 前期・後期

【授業目標】

カウンセリングの進め方や方法、面接の仕方をケース(事例)を通して学ぶことによって、カウンセリングへの理解を深めることが目標です。また、カウンセリング・マインドを身につけ、人間関係に役立てることも目指します。

【テキスト・参考書】

テキスト：特に定めない(必要に応じて授業時にプリント配布する)

参考書：渡辺三枝子『カウンセリング心理学－変動する社会とカウンセラー』ナニヤ出版

授 業 計 画

「カウンセリングではどんなことを行っているのか」、「カウンセラーとはそんな仕事なのか」を知り、カウンセリングの方法・進め方などを事例を取り上げながら学びます。

授業はビデオやテープを使って、よりわかりやすく具体的に進める予定です。

また、一方的な講義ではなく、ディスカッションを交えながら“考える”授業としたいと思います。

- 1 カウンセリングとは？
- 2 カウンセラーの仕事とその役割
- 3 青年のカウンセリング
- 4 現代青年を考える
- 5 子どものカウンセリング
- 6 現代社会と子どもたち
- 7 思春期のカウンセリング
- 8 学校カウンセラーの仕事
- 9 病院におけるカウンセラーの仕事
- 10 カウンセリング・面接・心理療法
- 11 面接の実際①－面接事例テープ
- 12 面接の実際②－面接の進め方と面接の技法
- 13 総まとめとレポート課題の提出

【評価方法】

レポート試験を実施。レポート課題は第12回授業時に配布し、最終授業時に提出。成績はレポート、平常点、出席状況から総合的に評価する。

【授業科目名】 心理学研究法 B	【担当者】 鈴木 牧彦
【開講期】 2年前期・2年後期	
<p>【授業目標】 脳と心の関係にアプローチするしかたには、狭義にいう生理心理学的アプローチと精神生理学的なアプローチがある。前者は、生体（特に神経系）の生理学的な変容にともなう行動変容を心理学的な方法で測定することによって「心理学的概念の実体化」をめざし、後者は、心理学的変容にともなう生理学的変化の測定を通して心身の相関を解き明かそうとする。授業では、脳を科学するとはどういうことか、それにはどのような方法があるのか、異なる方法をとることによって心見え方がどのように変わってくるのか、そうしたことを知り、考える力を養う。</p>	
<p>【テキスト・参考書】 テキスト：使用しない。 参考書：必要に応じて適宜紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>授業内容を分野別に掲げると、(1)精神生理学、(2)神経心理学、(3)生理心理学の3部となり、授業は大きめにこの順序で進めて行く。(1)、(3)では実習を中心に、(2)は講義中心で行なう。</p> <p>(1)精神生理学的アプローチの特徴や具体的な手法例についての講義に続いて、実験を行なう。テーマは、「精神作業時の心拍数の変化」。</p> <p>(2)左右離断脳、失語症、痴呆症、分裂病やアルコール依存症における認知障害などに関する実験例、臨床例の紹介、視聴覚資料を利用した神経心理学的検査の実際などを紹介する。</p> <p>(3)生理心理学的アプローチの特徴や具体的な手法例についての講義に続いて、実験を行なう。テーマは「脳内自己刺激行動」で、外側視床下部から誘発される行動の観察、自己刺激行動の獲得と消去の過程を実地に観察する。最後に、「脳を見る」というテーマで実験に用いた動物の脳の組織標本の作成を通じて脳の構造を観察する。</p>	
<p>①オリエンテーション</p> <p>②「精神作業時の心拍数の変化」 講義と実験の説明</p> <p>③④ 実験</p> <p>⑤ データ整理</p> <p>⑥ 討論</p> <p>⑦神経心理学 講義</p> <p>⑧生理心理学 講義</p> <p>⑨「脳内自己刺激行動」 実験の説明、実験</p> <p>⑩ 実験</p> <p>⑪⑫「脳を見る」 実習</p> <p>⑬ 実習</p>	<p>授業全体の構成、主眼点、進め方についてのガイダンス。</p> <p>自律神経系、情動理論、シャクターの情動実験などの紹介を含む講義、実験の説明。</p> <p>自分が被験者となったときの心電図を集計し、各人の結果についてグラフを作成する。</p> <p>「心拍数」の実験結果について考察、討議する。神経心理学におけるトピックス。</p> <p>生理心理学における手技（刺激法、破壊法）。</p> <p>実験の背景（情動、動機づけに関する簡単な生理学的研究史）、方法の説明に引き続き実験。</p> <p>実験と結果の整理。</p> <p>切片作成。</p> <p>染色、組織標本の鏡検。</p>
【評価方法】 レポート	

【授業科目名】 心理学研究法 B

【担当者】 久保田健市

【開講期】 2 年 前期・後期

【授業目標】

質問紙調査は、心理学の研究をはじめ、世論調査・マーケティングなどにも活用されている重要な研究手法である。この授業では、質問紙作成の基本的な知識と技法を学び、自分たちの手で簡単な調査を実施する。また、パソコンを用いたデータの処理やまとめ方について、基本的な技法を修得する。

【テキスト・参考書】

(参考書) 続 有恒・村上英治(編) 心理学研究法9・質問紙調査 東京大学出版会
杉山明子 社会調査の基本 朝倉出版
内田 治・醍醐朝美 成功するアンケート調査入門 日本経済新聞社

授 業 計 画

授業は、「講義・演習」と「実習」に分かれます。「実習」では、1~3グループに分かれて、自分たちで決めたテーマに従って、簡単な調査を行います。毎回の授業では、前半に講義や演習をし、後半には話し合いや作業を自主的に行う形式に、なるべくしたいと思います。

[授業の予定]

コマ	講義・演習	実 習
①	オリエンテーション、社会調査・質問紙調査の概説(講義)	
②	調査計画、調査方法の種類	調査内容・調査計画の決定
③	質問紙が備えていなければならない要件(講義)	↓
④	質問文の作成法と注意点、質問紙の構成・体裁	質問文・質問紙の作成
⑤		↓
⑥		予備調査
⑦	サンプリング方法	サンプリングの実習
⑧		本調査の実施、調査表の回収・事後処理
⑨	データ解析の手法(講義)	データ入力・解析
⑩	グラフの利用法	↓
⑪		↓
⑫		図表の作成、結果の解釈
⑬		結果の報告(プレゼンテーション)

[その他] レポート(報告書)の作成

【評価方法】

演習・実習への貢献度、レポートを総合して判断。

【授業科目名】 心理学研究法B	【担当者】 多喜乃 亮介
【開講期】 (2年前期 ・ 2年後期)	
【授業目標】 脳波の測定手法を実習を通して学び、記録された脳活動についての理解を深めます。また、簡単な実験を通して、認知機能を測定する場合の制約や実験的工夫について体験的に理解します。	
【テキスト・参考書】 テキスト：測定方法、データ整理方法などをまとめたプリントを配布 参考書： 大熊輝雄、『臨床脳波学』、医学書院、1983 時実利彦 他、『新脳波入門』、南山堂、1979 宮田 洋 他、『生理心理学』、朝倉書店、1985	
授 業 計 画	
<p>前半は脳波計の操作および電極装着の練習を中心に進める。実際の操作を通して、脳波がどのような現象を記録したものであるのか、どのような注意が必要なのか、脳波以外の生体電気現象にはどのようなものがあるのか、などについて学習します。また、記録したデータ整理を通して自発脳波の特徴、意識水準と脳波の関係について学習します。</p> <p>次に、実験場面を設定し、脳で営まれる働きがどのように脳波上に反映されるのかを観察します。また臨床脳波で異常脳波と呼ばれる現象がどのようなものであるのかを学習します。最終的に、脳で生じた小さな変化を捉える記録の経験を通して、心の成立する基盤や、脳と心の関係についての若干なりとも考察を加えることができるようになることを目標とします。</p> <p>以下の項目に従って進める予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガイダンス 脳の構造、脳波の発生起源、記録上の注意点 ・ 脳波計の操作 入力部分、増幅部分、出力部分の構造と操作 ・ 電極の装着 国際10-20法、探査電極、基準電極、接地電極 ・ 電極装着実習 ・ 記録実習 閉眼安静時記録、睡眠時記録、光刺激賦活 ・ データ整理 1 波形認識、アーチファクト、周波数と振幅の測定(藤森法) ・ データ整理 2 周波数分析、加算平均、入眠期～睡眠時の波形、 ・ 実験 1 課題遂行時の脳波(精神作業時、音楽／騒音聴取時、など) ・ 実験 2 事象関連電位(P-300, N-100, など) ・ 脳波異常 異常波形について(棘波、鋭波、徐波、群発波、など) 	
【評価方法】 電極の装着と記録をとることができることを50点、各自の記録した波形を分析し、レポートとして提出したものを50点として評価します。	

【授業科目名】 心理学研究法 B

【担当者】 中宮 敏之

【開講期】 2年 前期・後期

【授業目標】

バイオフィードバックとは、生理過程の随意コントロールを開発する一手法である。この授業では、まず基礎となる精神生理学的な実習を行い、心と身体の関係を理解した上で、実際にバイオフィードバック訓練を実施し、その技法を習得することを目的とする。

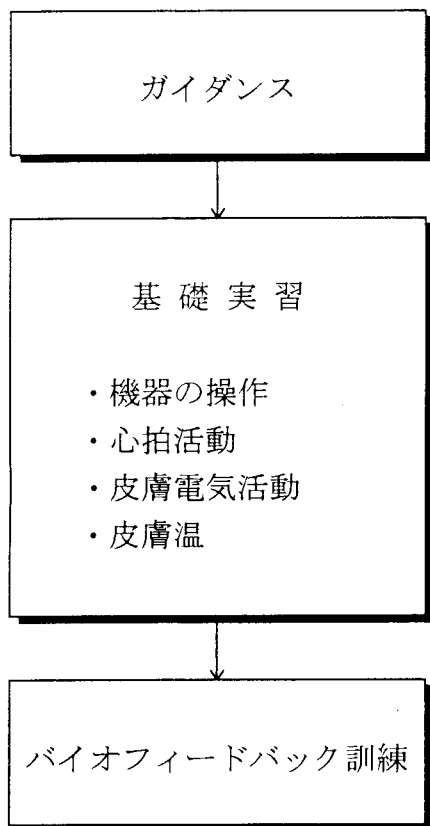
【テキスト・参考書】

テキスト: 適宜、資料を配付する

参考書: J. L. Andreassi 著 (辻敬一郎他訳) 「心理生理学 - ヒトの行動と生理的反応 -」
ナカニシヤ出版, 1985

授 業 計 画

授業は、以下のように進める予定である。



バイオフィードバックとは何かということについて、簡単な例を紹介しながら解説する。

バイオフィードバックの背景にある人間の様々な生理的機能について説明するとともに、心と身体に関連性を実習を通して理解する。

また、バイオフィードバックを行うために必要となる機器の操作法や測定技術を身につける。

基礎実習を元にして、実際にバイオフィードバック訓練を実施し、その技法を習得する。

【評価方法】

実習ごとのレポートで評価する。

<p>【授業科目名】心理学研究法 B (行動分析学)</p> <p>【開講期】 2年 前後期</p> <p>【授業目標】 行動の定義、測定、予測、制御を実際に実習形式で行いながら、行動分析学の考え方や手法を身につけることを目的とする。また、行動分析学の方法を、日常生活や臨床場面、コーチングなどへ応用する力も養う。</p> <p>【テキスト】 講義時にプリントを配布 (書き込み形式) *講義終了時には、行動分析学の自分だけのテキストが出来上がる</p> <p>【参考書】 アルバートら 1992 はじめての応用行動分析 二瓶社 super string SR21 1995 「あしたのジョー」心理学概論 中央公論社 杉山ら 1995 行動分析学入門 基礎編 産図テキスト</p>	<p>【担当者】 中丸 茂</p>
<p>授 業 計 画</p>	
<p>行動分析学は、実験的分析により、行動の理解・説明・予測・制御を目的とした学問であり、その対象は、観察可能な行動である。その分析単位は、環境と行動についての時間的、空間的關係 (随伴性) であり、様々な現象に対して、客観的なアプローチを行っている。</p> <p>本講義は、基礎知識の取得期 (講義) とその応用 (実習) という2つの形式をとる。前半は、俗信行動 (占い、相性、心霊現象) や情動行動 (恋愛) などをテーマとして、実験行動分析を中心に講義を行い、後半は、ダイエットや遅刻をなくすなど、各受講者の希望にあわせて、応用行動分析の方法を身につけてもらう。</p>	
<p>【行動分析学の基礎知識】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 科学って何? あの世は科学の対象になるか? 死人に口なし!! 2. 三項随伴性 恋人が冷たくなるとなぜ不機嫌になるのか? 3. 迷信行動 当たるも八卦当たらぬも八卦? 4. 情動行動 ヒトはもちろんのこと、ラットやハトも嫉妬する? <p>【応用行動分析】</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 行動目標 客観って何? シュール・ダンスは気分爽快! 6. 行動観察法 安室はマイクを何回持ち替えるか? 7. 実験計画法 なにが行動を制御してるのか? 8. 査定 行動分析学に統計の知識はいらない? 	
<p>【評価方法】 レポート</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動分析の知識の確認 2. 応用行動分析 (パフォーマンス・マネジメント) 	

【授業科目名】 精神生理学	【担当者】 多喜乃 亮介
【開講期】 (2年前期)	
<p>【授業目標】 私たちの意識を構成する基本的な心の働きの背景にある脳の活動や身体的な変化を題材に取り上げます。実験研究を中心に、ものを見たり、聞いたり、感じたりするときに私たちの脳や身体にどのような変化が生じているのかを学習します。そこから心と体の関係、あるいは心と脳の関係について理解を深めます。</p>	
<p>【参考書】 J. L. アンドレアッシ、『心理生理学』、ナカニシヤ出版、1985 J. ハセット、『精神生理学入門』、東京大学出版会、1987 宮田 洋 他、『生理心理学』、朝倉書店、1985</p>	
授 業 計 画	
<p>基本的に人間を対象とした研究方法、測定方法、実験例を中心に、心と体の関係について学習します。まず神経系の働きの基礎と測定方法について学び、次に精神活動の基盤を作り出す自発的な脳の働きを理解するために、意識を司る脳の働きについて学習します。ここでは睡眠と覚醒、なぜ人は眠るのか、といった問題に関連する研究を取り上げます。一方、外側から与えられた刺激に対する生体の反応について、体の末梢に現れる自律神経機能の反応と、直接脳を測定したときの反応を検討します。最後に高次脳機能の例として、注意、記憶、学習、運動に関連する脳の働きを紹介します。</p>	
<p>以下の項目に沿って授業を進める予定です。</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 心と体を結ぶ神経系の働きの基礎、および測定方法 <ul style="list-style-type: none"> 中枢神経系と末梢神経系 体性神経系と自律神経系 脳の構造と代表的な中枢機能 2. 意識を司る脳の働き <ul style="list-style-type: none"> 睡眠・覚醒中枢と脳波の発生 徐波睡眠、REM睡眠、生体リズム、睡眠の発生 精神活動と脳波上の変化 3. 末梢に見られる生体の反応 [自律神経系の反応] <ul style="list-style-type: none"> 汗腺活動の反応、心臓血管系の反応 心理的要因と自律神経系の反応 情動理論と神経系の働き (扁桃核、視床下部、報酬系を中心に) 4. 脳に見られる活動 [中枢神経系の活動: EEG, MEG, PET, MRI, fMRI] <ul style="list-style-type: none"> 誘発反応 (体性感覚野、視覚野、聴覚野、脳幹) と事象関連電位 運動機能と脳の活動 (運動野、補足運動野、小脳) 認知機能と脳の活動 (頭頂連合野、側頭連合野、前頭連合野、海馬) 	
<p>【評価方法】 定期試験</p>	

【授業科目名】心理検査法

【担当者】堀井俊章

【開講期】 2 年 前期

【授業目標】

心理検査法の基礎的知識の習得と体験的理解

~~テキスト~~・参考書】

渡辺洋（編著）1993『心理検査法入門』福村出版

授 業 計 画

心理検査法の歴史、理論、意義などの基礎的事項の概説を行った上で、各種心理検査について、実習形式により理解を深めてもらう。取り上げる心理検査は、知能検査、発達検査、性格検査などである。特に性格検査については、質問紙法と投影法（ロールシャッハテスト、TAT、PFスタディ、SCT、描画法など）があり、両側面から人間の多様な性格へのアプローチを試みる。

【評価方法】

レポートなど

【授業科目名】 カウンセリング	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年前期	
【授業目標】 カウンセリングの役割について理解する。 あわせて、さまざまなカウンセリング、心理療法の考え方について理解する。	
【テキスト・参考書】 テキスト：内山，高野，田畑 「講座サイコセラピー1：カウンセリング」日本文化科学社 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 田畑治，他「来談者中心療法」，ビアーズ「わが魂にあうまで」， 国分康孝「カウンセリング・ワークブック」，ガーフィールド「心理療法」 内山喜久雄「登校拒否」，杉溪一言「カウンセラーの悩みと生きがい」 中西信男，他「最新カウンセリング入門」，上田閑照「十牛図」，他	
授 業 計 画	
【評価方法】 平常点，中間試験，レポート	

【授業科目名】 行動療法	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年後期	
【授業目標】 行動療法の基礎について学習します。	
【テキスト・参考書】 テキスト：「カウンセリング」と同じ 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 上里一郎「行動療法」，坂野雄二「認知行動療法」， 園田順一，他「子どもの臨床行動療法」，氏家寛「心理面接のノウハウ」， ベック「認知行動療法」，中西信男，他「ストレス克服のためのカウンセリング」，他	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. ふたたびカウンセリングの流れ 2. 行動療法の特徴 3. 行動療法と受理面接 4. 行動療法のアウトライン VTR利用 5. 行動療法の技術(1) 系統的脱感作 6. 同 (2) フラッディング 7. 同 (3) モデリング 8. 同 (4) シェイピングと強化技法(1) 9. 同 (5) シェイピングと強化技法(2) 10. 同 (6) 消去 11. 同 (7) アサーション訓練(1) 12. 同 (8) アサーション訓練(2) 13. 認知行動療法の技術(1)：認知行動療法とは 14. 同 (2)：Beckの立場を中心に 15. 同 (3)：Ellisの立場を中心に 16. 同 (4)：認知行動療法の技術(1) 17. 同 (5)：同 (2) 	
【評価方法】 平常点，中間試験，レポート	

【授業科目名】 臨床心理学

【担当者】 松原宏明

【開講期】 2年 前期

【授業目標】

臨床心理学に特徴的な人物理解の方法を概略的に学習する。

【テキスト・参考書】

・テキスト、参考書は授業に於いて指定する。(受講者の状況に依る)
・その他資料はプリントに配布する。

授 業 計 画

本授業では、臨床心理学の基礎を学び、いくつかの代表的理論をとりあげ、それらが、「心の病」、「心の問題」をどうとらえ、悩む人をどう援助していったのか、概説する。

授業を進めるにあたっては、「事例」の講読、心理的作業を適宜、とりいれよう。この際、学生諸君は、心にかんざくする作業を大切にし、ときには自分自身のことをふりかえりながら、体験的に理解を補い、かつ深めようことを試みよう。

【評価方法】

期末レポートの成績。また、授業中の学習の姿勢を参考にする。

【授業科目名】 健康心理学

【担当者】 大木桃代

【開講期】 2 年 後期

【授業目標】

比較的新しい研究分野である健康心理学に関する理解を深めると共に、授業中に勉強したことを実生活でどのように応用できるか、さらに私たちが心身共に健康であるには何を心がけていけばよいのか、などについて考えていくことを目標とする。

【テキスト・参考書】

後日指示する。

授 業 計 画

健康心理学の概論と、特によく取り上げられる「ストレス」と「タイプA」という2つのテーマについて詳しく説明する。また、思春期の健康教育や医療現場における健康心理学の役割などについても紹介していく予定である。授業の進行具合によって他のテーマも取り上げる。

また、講義に加えていくつか心理検査も実施し、健康心理学の分野からの自己分析も試みる予定である。具体的には以下のような内容を説明する。

1. 健康心理学概論

- 1)健康心理学の定義・目的（健康心理学とは何か、何をめざしているか）
- 2)健康心理学のテーマ（どのようなテーマを対象としているか）
- 3)健康心理学の歴史的背景（今までどのような研究がなされてきたか）

2. ストレス

- 1)ストレスとは何か（ストレスやストレッサーの定義、コーピングとは、など）
- 2)ストレス研究の歴史（Cannon, Selyeから現在までのストレス研究）
- 3)ストレス対処法テスト実施・採点・解釈（心理検査を実施し、自己分析する）
- 4)Lazarusのストレス理論（上記検査の背景理論であるLazarus理論の説明）

3. タイプA

- 1)タイプAとは何か（定義、行動パターンか性格か、疾病との関連など）
- 2)タイプA研究の歴史（Friedman & Rosenmanから現在までのタイプA研究）
- 3)タイプA測定法実施・採点・解釈（心理検査を実施し、自己分析する）

4. その他

- 1)思春期の健康教育
- 2)医療現場における健康心理学
- 3)その他

【評価方法】

学年末のテスト、授業中の課題、出席などを総合的に評価する。

【授業科目名】 障害児心理学	【担当者】 山田寿子
【開講期】 2 年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>障害児の指導法の基礎となる知識及び基本的考え方を学び、色々な障害の特性及び指導法を知ること为目标とする。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>テキスト：使用しない</p>	
授 業 計 画	
<p>障害児の行動を的確に把握し、事実間の相互関係を明らかにし、その原因を考察することが正しい治療的指導法に通ずる。障害児に対する科学的理解と実践のための基礎的知見を体系的に考察することが障害児心理学の目的である。障害児の有する問題行動やその原因の捉え方及び治療方法について述べる。</p> <p>授業は以下の項目にそって進める。</p> <p>§ 障害の定義</p> <p>第1章 障害児心理学の目的・課題</p> <p>第2章 診断とテスト</p> <p>第3章 障害の医学・生理学的基礎</p> <p>第4章 障害各論</p> <p>第1節 視覚障害</p> <p>第2節 聴覚障害</p> <p>第3節 肢体不自由</p> <p>第4節 精神発達遅滞</p> <p>第5節 自閉症</p> <p>第6節 言語障害</p> <p>第7節 学習障害</p> <p>第8節 重症心身障害</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート</p>	

【授業科目名】 交流分析	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年前期	
【授業目標】 自己援助の一つの機能にも位置づけられる，交流分析の実際について学習する。	
【テキスト・参考書】 テキスト：なし 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 杉田峰康「交流分析のすすめ」，池見酉次郎，他「セルフコントロール」， 新里里春「交流分析療法」，杉田峰康「交流分析」，新里里春「交流分析とエゴグラム」 中村和子「わかりやすい交流分析」，他	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己援助とソーシャル・サポートの役割 2. 精神分析と交流分析 3. 交流分析のアウトライン 4. 自我の構造分析(1)： エネルギー充当の対象：Critical Parent, Nurturing Parent, Adult, Free Child Adapted Child 5. 同 (2)：排除，その他 ：エゴグラム 6. 交流様式（人間関係の持ち方）の分析(1)：相補的交流，交差交流，裏面交流 7. 同 (2)：交流の動機—ストローク，時間の構造化 8. 同 (3)：自己と他者への基本的関係 9. 自我状態の分析と適応上の問題 10. ゲーム分析(1)：ゲーム（適応上の問題をもたらす行動様式）について 11. ゲーム分析(2)：ラケットとデイスカウト 12. 脚本分析(1)：脚本（反復強迫）の意味 13. 脚本分析(2)：脚本のタイプと禁止令 14. 脚本分析(3)：脚本からの脱出 （わかりやすいVTRがありますので，基本的にはVTR使った授業になります） 	
【評価方法】 平常点，中間試験，レポート	

【授業科目名】 児童相談	【担当者】 神田信彦
【開講期】 2年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>子どもの適応上の問題に関する相談の方法やあり方に関する基本的な知識を身につける。</p>	
【テキスト・参考書】	
授 業 計 画	
<p>子どもたちの抱える発達上、適応上の様々な問題を理解し、子どもたちがより健康的に成長していくための援助の方法について考えていく。</p> <p>・講義は、以下の内容に沿って進める予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの問題と相談活動 2. 相談活動のプロセス 3. 相談者の心構え 4. 相談活動の方法 5. 児童相談所の相談活動（外部講師を予定） 6. 幼児期の問題と相談事例 7. 学童期の問題と相談事例 8. 思春期の問題と相談事例 <p>※受講生の人数によっては、ロールプレイなど簡単な実習を予定している。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点（小レポート）及びレポート 出席重視</p>	

【授業科目名】 心理学特講 I	【担当者】 林 潔
【開講期】 2年後期	
【授業目標】 最近の心理療法の2つの方法,マイクロカウンセリング, コラージュ療法について紹介します。	
【テキスト・参考書】 テキスト：なし 図書館にある指定図書を使います。割り当てられた週に利用して下さい。 アイビー「マイクロカウンセリング」, 河合隼雄「昔話の深層」, 河合隼雄「昔話と日本人の心」, 河合隼雄「おはなし, おはなし」, エンデ「モモ」, 子安美智子「「モモ」を読む」, 秋山さと子「ユング心理学へのいざない」, 他	
授 業 計 画	
<p>I マイクロカウンセリング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 折衷的カウンセリングとしてのマイクロ技法 2. 基本的技法 3. 積極技法 4. 一般面接への応用 <p>マイクロカウンセリングの授業には, 発案者A. Ivey編のVTRを使用します。 受講者の人数によっては, ロール・プレイングを行います。</p> <p>II 講演：心理学の現場</p> <p>III コラージュ療法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ユングの分析心理学 2. 箱庭療法とコラージュ（貼り絵）療法 3. コラージュの実際（2-3）セッション 	
【評価方法】 平常点, レポート	

【授業科目名】 心理学特講Ⅱ

【担当者】 伊藤典幸

【開講期】 2 年 後期

【授業目標】

今後自らが社会生活の中で遭遇するであろう問題解決場面で心理学がいかにかに有効かを知るとともに、現実の場面で心理学の知識を活用しうる能力を身につけることを目標とする。

【テキスト・参考書】

授業の中で必要に応じ紹介する。

授 業 計 画

1 回目の授業でイントロダクションとして、心理学の応用事例、社会的な事象の心理学的解釈等を各種紹介した後、2 回目以降、下記のテーマについてより掘り下げた解説を行っていく。

1. 居住空間の設計

応用的な見地から現実の空間の中での人間の行動についての実験例、実例を紹介しながら、それら個々の事例について心理学的な解釈を行なっていく。また、その目的に応じた心地好い空間を作り出すには、どのような設計をするべきかを心理学的な見地から考えていく。

2. 事故とヒューマンエラー

航空機事故の事例をとりあげ、事故原因におけるヒューマンエラーの問題を取り上げる。事故防止のためのマン・マシン・インターフェースの改良の歴史を解説しながら、ヒューマンエラーの根絶の難しさ、その背景にある人間行動の複雑さを再認識していく。

3. 教育訓練プログラムの体験学習

米国大手エアラインでコックピットクルーのトレーニング用に開発され、一般の企業においても組織のチームワーク養成に利用されているコミュニケーション能力開発プログラムの体験学習を行う。ここでは、このプログラム自体の意義を考えると同時に、トレーニングプログラムの中で自分自身が何を学習できたかを考えていく。

【評価方法】

レポート

【授業科目名】 心身医学	【担当者】 森山敏文
【開講期】 2 年 後期	
【授業目標】 こころとからだの現象学を通してヒトとは何かを学ぶ -心理学を学ぶ人のための心身医学入門講座-	
【テキスト・参考書】 佐々木雄二編著・講座サイコセラピー3 自律訓練法 日本文化科学社	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 心身医学とは何か－総論－ 2. こころとからだの現象学－東洋的視座と西洋的視座－ 3. 心身医学の中で心理学の果たす役割は何かを考える 4. ストレスとは何か－ヒトと社会との交通から生じるもの－ <ol style="list-style-type: none"> a. ストレスの概念 b. ストレスの概念を再考する 5. 心理学的な援助法のあれこれ－精神分析・自律訓練法等－ 6. 心理テスト法について 7. ストレスをマネジメントする 	
【評価方法】 レポートと平常点	

【授業科目名】 精神保健

【担当者】 青田洋一

【開講期】 2 年 前期

【授業目標】

現代精神医学の基礎的知識を習得し、精神障害に対する誤解・偏見をとくこと。さらに、その知識を日常生活において役立てていけること。

【テキスト・参考書】

(参考書) ナンシー・C・アンドリアセン『故障した脳』(紀伊國屋書店)

授 業 計 画

おおよそ以下の項目にそって進める。

- ①総論…精神障害とは? 予防とは?
- ②基本的用語の理解
不安, 恐怖, 強迫, 離人, 心気,
抑うつ, 躁, 幻覚, 妄想, せん妄
もうろう, 憑依, 痴呆, 健忘, e t c
- ③精神障害の分類
- ④精神分裂病
- ⑤躁うつ病
- ⑥神経症
- ⑦その他の精神障害
- ⑧精神障害の治療
- ⑨精神障害と責任能力
- ⑩精神医療の現状と問題点

【評価方法】

定期試験 (テスト)

【授業科目名】精神医学

【担当者】座間味宗和

【開講期】 2 年 後期

【授業目標】

- ① 精神医学の歴史的な変遷を講ずる。
- ② 正常と病態心理の理解を深める。
- ③ 精神障害の分類を概説する。

【テキスト・参考書】

- ① 心の医学 柏瀬宏隆著 朝倉書店
- ② 読本—精神医学 坂部先平著 近代文芸社

授 業 計 画

精神医学という言葉は、きわめて古く、ライル (J. C. Reil) が1808年に初めて使用したと考えられている。そして、多角的な研究によって近年の精神医学は人間関係を明らかにする医学の一つとして理解されるようになってきた。とりわけ、昨今の科学研究の進歩は著しく、精神医学や心理学そして精神病理学などの領域が広くなり、対象も拡大化してきた。したがって、本講においては、歴史的な変遷、内因性、外因性、心因性などの精神障害を大別し、その成因論、診断論、治療論そして昨今の予防論について概説すると共に、可視的方法で理解を深めたい。

【評価方法】